

財団法人日本タイ協會々報

第三十七號

昭和十八年十二月

昭和十八年十二月

財團 日本タイ協會々報

第三十七號

財團 日本タイ協會



財團 日本タイ協會編 最新刊

# タイ國通史

タイ國は昨年十二月のロタイ攻守同盟に續いて本年一月五日に至り、遂に米英に對し干戈を執つて起つたが、去る四月下旬、プラヤー・パホン中將を首班とする同盟慶祝使節及びそれに先行せるワニット無任所相等の經濟委員と、わが關係者間にすゝめられた具體的交渉により經濟諒解成立し、こゝに日タイ兩國は今や軍事的經濟的に完全なる協力態勢成り、相共に米英撃滅大東亞共榮圈建設の大業に邁進しつつあるのである。

かくてわれらはこの友邦タイ國の完全なる認識理解の要、今日程急なるはない。而して一國の認識理解はその國の歴史に徴することが捷徑であり、最良の方法であることは論を俟たない。本書はその要求に應へるべく東邦に於ける唯一の書である。

規格 B 列 6 號 三〇〇 頁  
美麗口繪・寫眞 十七頁  
定價 貳圓 五拾錢 (送料二十錢)

— 內容 目次 —

タイ國黎明史——タイ國の位置——タイ國の先住民族——優秀なるタイ民族——南詔王國の建設——ムアン・タイの建設

スコタイ王朝史——偉大なるラーマカームヘン大王——スコタイ王朝の末期

アユタヤ王朝史——神秘的英雄兒ウットーン・トライローク・ナート王の治蹟——ポルトガル人の渡來——ピルマのアユタヤ王の治蹟——アユタヤ王國の復活——和蘭の東洋侵略——日本民族のタイ國發展史——英國のタイ國進出——ピルマとの葛藤——日タイ國交と山田長政の活躍——アユタヤ王朝の滅亡

バインコーク王朝史——チャクリー王の霸業——英國のタイ國工作——チネラーロンコーン王の偉業——タイ・佛事變と獨立保障

タイ國近代史——プラチャーティボック王の功業——人民黨と立憲革命——急進派の凋落——武斷派の擡頭——十月兵亂の經緯——國王の退位——武斷、文治兩派の抗争——タイ國最初の議會解散——ビブーン内閣の確立——新興タイ國の動向——最近の日タイ交通

附録、タイ國憲法——日タイ歴史年表

東京都麹町區幸町 亞日本社  
電話 振替 東京 四六七一 番  
電話 銀座 五二一 番

## 財團 日本タイ協會々報第三十七號 目次

〔口繪 寫眞〕

一、タイ國の三大學

泰國皇帝陛下御誕辰に際して…………… 堀 貞 夫…………… 二

戰時下自給自足の泰國工業政策…………… 堀 貞 夫…………… 二

日泰經濟關係當面の諸問題(スックサワート泰國商務官懇談會)…………… 堀 貞 夫…………… 二

タイ民俗の造形文化(三)…………… 堀 貞 夫…………… 二

泰國 セーン・ウイー姫物語…………… カルル・デエリング 勝見 勝…………… 三

戯曲…………… 本協會常務理事 三 島 章…………… 道譯…………… 三

泰國事情

佛曆二四八六年度泰國豫算細目…………… 西…………… 三

タイ・ドーム官吏任命…………… 西…………… 三

非常時信用統制令(詳報)…………… 西…………… 三

印看守養成所の開設…………… 西…………… 三

二國民文化院の警察隊…………… 西…………… 三

駐日泰國大使 ウイチット・ウイチットワタカーン…………… 三

本協會常務理事 三 島 章…………… 道譯…………… 三

農業獎勵諸施策…………… 西…………… 三

國立銀行の新事業…………… 西…………… 三

全警察署に成人學校…………… 西…………… 三

ナコーン・シータマラートの母の日…………… 西…………… 三

ユワチョン大行進…………… 西…………… 三

史蹟、寺院の目錄作成……………頁  
米穀賣上競争……………頁  
女子部隊の豫備將校名簿……………頁  
税金献金に手形使用……………頁  
鬮鬮競技會……………頁  
黃麻栽培盛況……………頁  
敵國放送廳取廢察……………頁  
佛敎弘布の聖地建設……………頁  
十四法案議會通過……………頁

雜報

泰國新領正式編入……………頁  
北部マライ各州に連絡所……………頁  
ビョン首相感謝表明……………頁  
泰國マライ四州司政官……………頁  
同上行政要領布告……………頁  
日泰領土條約締結祝賀會……………頁  
泰國軍事視察團離京……………頁  
パドリオ降伏と泰首相放送……………頁  
留日學生處遇方針決定……………頁  
泰國副總理新任命……………頁

藝術大學新設要綱……………頁  
藝術局の藝術講習會……………頁  
泰・佛印新協定調印……………頁  
攝政府辭令……………頁  
陸軍人事異動……………頁  
ビョン首相放送……………頁  
ウ外相の滿洲視察……………頁  
關係異動……………頁  
ビョン首相の議會演說……………頁

アドン泰副首相大將に……………頁  
ウイチット外相密附……………頁  
軍政地タイ國間兩替措置……………頁  
タイ國關係異動……………頁  
鳥取震災に泰から見舞品……………頁  
駐日タイ國大使更迭……………頁  
タイ國伊國新政府承認……………頁  
ディレック前大使歸國……………頁  
大東亞省・交易局編入……………頁  
タイ國西貢領事館昇格……………頁

泰國フィリップピン獨立承認……………頁  
泰外相にディレック氏……………頁  
日泰同盟の歌を選定……………頁  
開戦三周年と日泰文化會館……………頁

協會記事

理事長、常務理事互選……………頁  
理事會開催……………頁  
川村常務理事轉出……………頁  
ディレック前大使送別會……………頁  
ディ前大使に記念品贈呈……………頁  
名譽會員推舉……………頁  
役員の異動……………頁  
會員の異動……………頁  
會員消息……………頁

財團法人日本タイ協會總裁及役員並職員……………頁  
泰曆・諸曆對照表……………頁

文化協定一周年記念放送……………頁  
泰國新首都變更……………頁  
泰國專任國防相任命……………頁

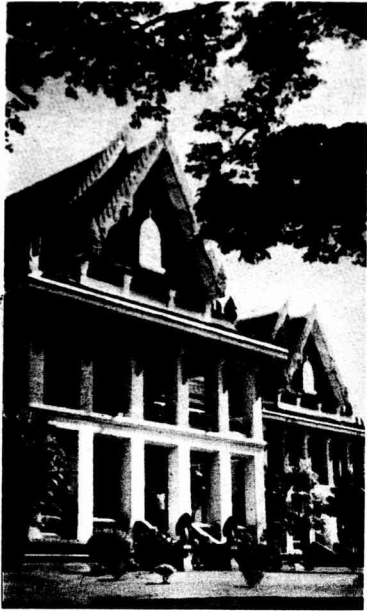
〔大阪日泰協會記事〕

定時總會開催……………頁  
駐日泰國商務官懇談會……………頁  
展覽會共催……………頁  
日泰民間航空郵便取扱陳情……………頁  
常任理事會開催……………頁  
新田義實氏講演會開催……………頁  
ディ前大使に記念品贈呈……………頁

(目次終り)



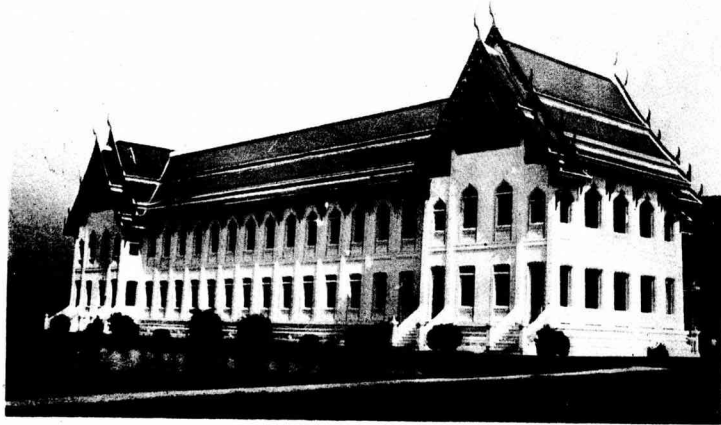
學大三の國イタ



學大政文國イタ(上)

學大ソークンロラユチ(左)

學大トウラチーフ(F)



財團法人 日本伊太協會

# 報 會

第三十七號 二十一月一日發行

## 本協會の目的及事業

### 會則第二章第三條抜抄

本協會ハ日泰兩國ノ親交増進文化ノ交流發達並ニ經濟關係ノ助長ヲ圖ルヲ以テ目的トシ泰國ニ於ケル同種ノ團體ト連絡ヲ保チ左ノ事業ヲ行フ

- 一、泰國事情ノ調査研究及紹介並ニ日本文化ノ紹介
- 二、日泰兩國間ニ於ケル經濟關係ニ關スル研究及斡旋
- 三、日泰兩國間ニ於ケル觀察、觀光並ニ留學ノ勸誘及斡旋
- 四、學生會館ノ經營
- 五、其ノ他本協會ノ目的達成上ニ於テ必要ト認メタル事項



## 泰國皇帝陛下御誕辰祝日に際して

——九月二十八日泰向け國際放送——

本協會名譽會員 男爵 荒 木 貞 夫

本日は泰國皇帝陛下御誕辰の芽出度い日であります。  
興亞の重大なる一翼を擔ふ我が盟邦の益々隆へ行く有様を眼前に眺め泰國皇室を始め奉り千五百萬の泰國國民諸君に對し謹んで慶祝の誠意を表します。

泰國は最近の短かき間に於て嘗て喪へる失地を回復し、國民發祥の地と言はるゝシヤン地方を領土内に編入し、今

や佛敎國の基盤の一つとなつて、其國運は日増に伸張しつゝも我が國と志を同ふして興亞の爲に奮闘せられつゝある姿は、誠に雄々しいものと存じます。首相ビボン閣下が全勢力を傾けて輔弼の重任に膺り、能く敵國の誘惑を封じて新興國家の國政にあたられ、其手腕を振ひつゝあるは、盟邦の爲め深く敬意を表する所であります。

想ひ起す滿洲事變の眞最中國國際聯盟が依然歐洲文明の利己的唯物的のたゞれ切つたる感念を以て我が國に挑戦し來り、滿洲を國際聯盟理事國の共同管理下に置かんとせる時、嘗て第一次世界大戰に於てまさまざと其歐洲文明の根柢の誤れる野獸的貪慾性の根深くある事を知れる我が國は、世界平和のため將又人類幸福のため何としても東洋精神の振興、東洋文化の興隆を期せねばならぬと覺悟し、一方赤化東漸の恐るべきものあるを眼前に見せしめられて、遂に起ち上つたのであります。これが遂に滿洲事變となつたのであります。

斯の如く滿洲事變は此意味に於て最初より既に世界問題であると覺悟し、此問題にして然も一度膝を屈せんか、永遠に東洋の持てる崇高なる人道的理想の實現は愚か、萬邦各其所を得兆民悉く其の堵に安んずる大平和の理想の蹂躪さるゝを直感して、此の理想防護の信念の下に國家を賭して敢闘する事になつたのであります。かくてよし世界の凡てを相手とするとも斷じて譲る能はずと正義の爲めに悲愴の決意を爲すに至つたのであります。然るに不幸にして列國は未だ其眞意を解せず、聯盟總會に於ては四十二對一といふ未曾有の光榮ある弧立を以て世界平和の方策特に東洋平和の根本方針に就ては全然聯盟と其所信を異にせるを確認せりと、斯く聲明して、彼等と袂を訣つたのであります。此重大なる時に當りて此怒濤満まく聯盟の中にあつて獨り泰國一國のみが嚴然として日本の主張反對の全投票中に棄權を敢行し、以つて我が正義に尊き理解を表明されたのであります。元來日泰兩國の關係は今日に始まつたのでなく、速き昔、山田長政が泰國に活動せし時代に於て既に其緊密なるものがあつたのであります。而して彼の聯盟問題以來

義氣を重んじ道義を主とする我が國民は、泰國に對して深く感謝の意を表し、爾來相互の理解は一層深くなつて實に今日の深厚なる兩國の關係は端を其時に發したのであります。

當時責任の位置にありし私は、之れに酬ひんがために泰米輸入に就て大に力を致したのであります。其之れに酬ゆる事甚だ少かりしは残念であつたが、當時我が國には米の産額過剰で外米輸入は農民生活を脅威する點があつたに拘らず、我が農民の多數は自己の利益を犠牲にしても泰米の輸入を甘受し以て聯盟離脱當時の泰國の義氣に答へんとしたのである、以て當時の我が國民の感激が那邊にあつたかを察知し得ると思ひます。爾來今日迄我が國民は念頭より此事を忘るる事なく今次泰國が失地を回復し、一氣に其國運の伸張を示すに至りし事は、私のみならず我が國民の等しく自分の事の様に安堵し喜んだのも斯様な過去の経緯があつたからであります。これ正義に對する我が強烈なる國民性の一端を物語るもので、泰國々民諸君が斯様な點を十分に理解して日泰兩國親善關係の永遠不動の上に十分の貢獻あらんことを望む次第であります。昨年ビヤパホン氏來朝の際親しく之を語らんとしましたが、其機を逸し僅かに私の私断に於て其一端を語りて當時を追憶致した次第であります。翻つて過去現在の亞細亞を回想すれば感慨無量なるものがあります。數世紀に亘り歐洲勢力の東漸と米國勢力の西進は亞細亞をして眞に累卵の危に陥れたのであります。歐米の諸國は當時東洋を眼中に置かず、東洋各國民の獨立も文化も實に滅亡に近からんとしたのであります。我國が其國力尙不十分の間に於ても幾度か劍を取らざるを得なかつたのも其爲であります。幸ひ我が國體の有難さは常に我が 天皇陛下の御稜威によりて敵を摧いたのであります。而して亞細亞興隆の我が悲願は最後の解決へと向つて終に今次の世界戦局を見るに至つたのであります。亞細亞危しとの感を決して我國のみが感じた事ではなく、亞細亞民族の悉くが感じた所であつたのでせうが、機熟せず、長い間彼等の横暴に任じた次第なのであります。今や

世界は大變轉の時である、新秩序が如何にして生るるか大なる興味を以て世界は注視して居るのであります。併しながら何れにしても天地自然の大道に根據を置く東洋精神文化の勃興なくして決して平和なる新世界は生れて來ません、萬邦所を得る眞の平和は、利己的唯物性に孕む過去の西歐文明内には見る事が出來ないのであります。大東亞共榮圈の建設は此大平和招徠の第一の基礎なのであります。故に東亞共榮圈の完遂なしに亞細亞の興隆はなく同時に新なる世界の眞の平和の新秩序は來ないのであります。

戦争は愈苛烈となり、空陸海の戦況は益深刻となり外交線は虚實眞に計り知るべからざるものがあります。其神經戰に謀略戰に一寸の油断も出來ません、過般の伊太利の政變は實に善く之を物語るものである。而して伊太利の政變は決して伊太利の爲めには幸でなかつたであらう。我が國民は平和を愛好し人道を重んずる、されど一度劍を取つて立つた以上は學國 天皇陛下を仰ぎ奉りて死生を超越し炎の如くなつて其任する所に邁進します。これは我が國民の特性であり我が國の傳統であります。唯勝利か然らずんば大義の前に死あるのみである。日泰兩國の關係は聯盟問題以來日増に強固の度を増すと共に、兩國相互の理解は一層深くなりつゝあると信じます。今日吾人は東亞歴史の過去を追懐し、現下の世界動向を洞察し、東洋文化を基調とする東亞建設の爲め切に日泰兩國國民の奮闘を望んで止まぬのであります。本日の慶祝の日に當り謹んで、泰國皇帝陛下萬歳を奉唱し泰國の一層の隆運を祈願し、同時に日泰兩國の關係が其數々の友邦と共に、高き理想の上の結核となつて以て永遠に興亞の重大なる任務を盡さんことを祈念するものであります。我らあくまで大義の上に死をもつて戦ひ愛をもつて建設する覺悟に燃えてをります。各國民族の價値は最後の困難なる試練に達着して始めて表はるゝものであります。喜び奮つて共にこの試練に勝ち抜いて、世界に我々民族的價値の眞價を示しませう。興亞の前途はなほ遑遠、切にタイ國の安康と隆運を祈ります。

# 戦時下自給自足の泰國工業政策

堀 一 平

## 工業製品の輸入杜絶

タイ國は曩に参戦と共に國內經濟の大切替へを行つた。そして非常な努力を拂つて戦時經濟體制の整備につとめたが、その顯著なる現象の一つは工業の自主確立と大擴張であつた。これはタイ國としては當然の歸結であつて、戦争による輸入途絶は、從來外國より輸入してゐた生活必需品を初め各工業製品を自給自足しなければならぬ絶對の要請からであつた。

元來タイ國は原料國、特に農業國であつた。然るにこれが工業生産の必要を感じて來たのは既に戦前から、國際狀勢の緊迫がこの趨勢を馴致したことは論を俟たな

い。タイ國の参戦は昨年一月廿五日であつたが、それから二旬、二月六日タイ國政府代辯者が「今や外國人の商工業上の優越特權は終局を告げた。タイは林業、鑛業の資源開發に着手しなければならない」と放送して、國民を激勵した。これはタイ國の工業立國への國策轉換の第一聲である。

戦前タイ國は約二億銖の農産物を輸出して、一億二、三千銖の工業製品を外國から輸入してゐた。タイ國の國民總生産高は約五億銖と稱せられるから、工業製品輸入高はその四分の一に該當してゐるわけである。

然らば何故タイ國の工業が斯くも不振であつたかといふと、それは農業國としてはむしろ通例に屬する古來か

らの傳統政策といへばそれまでであるが、一面には、石炭、石油、鐵、電力等の工業發達上必極の重要資源の貧困若しくは絶無、陸上交通の不便、關稅自主權の喪失等の諸要素が障害となつたことも見逃せない。

戦前タイ國が輸入しつゝあつた工業製品中綿織物が斷然多く、總數量の一割六分に及び、以下主なるものとしては砂糖、機械類、車輛、麻袋、糸類、燈油、ベンジン油、紙類、電氣器具等であつて、これらの輸入品がタイ國人の日常生活上如何に重要な役割をつとめてゐたかは論ずるまでもない話である。これに對して戦ふ前のタイ國內では精米、製材、マツチ・セメント、電氣事業のほかには見るべき工業組織なく、隨つて輸入杜絶に際して、これらの大部分を自國生産に俟たなければならなくなつたものである。

## 工業振興に於ける二三言説

すでにバーンコーク放送にも現はれてゐる通り、参戦後タイ國政府は國民の奮起を促すと共に、政府自身とし

ても着々として工業大擴張への諸政策を實施し、國民また自覺して、政府への協力態度を示し、今やタイ國を擧げての工業熱は、かの國民文化厚生運動と共に最も旺盛を極めてゐる。この間の消息を傳へる幾多の事例があるが、試みにその二三を紹介すると、本年七月「工業的自覺」と題するバーンコーク・クロニカル紙の社説の如きもその一である。全文左の通り。

## 工業的自覺

農業、工業、商業の擴張發達は、タイ國の國力伸展を以て期して全思索と全精力を傾倒するピブーン首相當面の目標である。これらの經濟問題に對する施策は政府が多大の考慮を拂つて來たところで、タイ國の参戦以來、長期に亘ると見られるこの戦争中、如何にして經濟的自給自足を果し得るか、如何にして原料資材の入手、製作機械の補給を期し得るかに重要な問題であつた。(中略)從來のタイ國民は、自國で品物を製造して外國に賣つて莫大な利益を獲得できる工業と商業を他



國民の獨占に委ね、これらを外國から輸入して満足してゐた。しかし農業に對する外國の侵略は比較的少かつた。尤も現在とても外元上侵略の徴候は見えぬといへぬが、若し過去十年間（革命以來）政府が政策を變更して、その施設宜しきを得なかつたなら、我が農業は外國の利權屋のために完全に死命を制せられ、國家資源は枯渴したに相違ない。政體と統治方式の變革の結果、國民生活と國民精神の變態が覺醒された。今日タイ人がこの遺産（農業）を管制し、またそれが行政官の指導と保護によつて成果を挙げたことは、明瞭である。この數年來政府及び半官的機關の訓令が多數實現を見た理由も亦そこにある。かくてピーン首相は唯に戰局の要請によつて生じた商工業の擴張に對してこれが適策を提唱するのみならず、一流の先見の明を以つてこの機會に於て窮極の利益を得べく廣範圍にわたつて國民の活動を促がしたのであつた。かくする事によつて、首相は農業は國家經濟の中心であるから、これが最高の利益を確保する一方他の有益なる事業に

八

もその眼を轉ぜしめ、以つて國家と國民各個を益せんとする二重の狙ひを有してゐる。國民が久しく食つてゐた惰眠から完全に覺醒し得たのは大東亞戰爭勃發の賜である。物は市場から委を消し、または暴騰した。代用品が要求され、國民はそれを切望した。この希求に對へてピーン首相はその宣傳機關を集中動員して國民を勵まし、經濟的自給自足の問題を説き、これが實現に要する専門知識を準備した。その結果現在に於けるが如き熱烈なる商工業活動となつたのである。尤もその商工業活動も今は幼稚の域を脱しないとはいへ、やがては來るべき將來に強大且つ健全なる發達を遂ぐべき曙光を見出してゐる。

革命記念日の催された展覽會の入場者達は、經濟的自給自足運動が開始されて幾干も経たず、短期間にそれが急速なる進歩を遂げたことを知らされた。この展覽會は充分満足すべきもので、計畫が正鵠且つ健全なる基礎の上に置かれ、これが結實の曉には、タイ國にとつて測り知らざる價值を生ずるものたることは疑ひな

い。經濟的自給自足への前途には、幾多の障害と困難が横はつてゐるが、政府の努力の背後に國民の意志と協力が嚴乎として存在する以上は、それらの障害も困難も徐々に、しかし確實に除去さるべきは慥かである。この國民意志も協力も戦時の要請にこたへて商業を發達せしむる政府の施策に對し、國民各自がそれ／＼の職域奉公を全うするに於ては充分その成果を期待することが出来るであらう。戦時特別經濟政策の施行は戰爭遂行上の根本的要求であつて、戰爭が長期戦の相貌を逞して來る程死活の重要性を帯びて來る。故に獨自の工業製品をもつことの必要は論議するまでもない事である。政府はすでに指導と知識と資本を提供しつゝある、この上の要求は減私奉公と努力とを兼ね備へた「人間の力」である。幸にもタイ國民は既に工業的に覺醒した。隨つて將來の成功は確實である。この一文によつて工業發達に對しタイ國朝野の熱意の存する所がよく窺はれるが、更にタイ國最高指導者たるピーン首相が今春工業省の創立一周年記念式典に際し

て、省員に與へた左の訓示も亦これを裏書するものであ

る。  
（前略）工業省は設立未だ一年の短時日を閲したに過ぎぬに拘らず、國家經濟上非常に重大なる地位を占めてゐる。特に現下のごとき世界戰爭が行はれてゐる期間中においてその重要性は大きい。工業省の本身は國家を助ける直接の機關たるにあつて、その成果は戦ひの勝敗に關わる。（中略）

我々の總ては衣食住と藥品を必要とする。これらの資材は何れも我々が厚生する重要素であり、必ず生産されねばならぬものである。これ即ち完備した工業省が必要なる理由である。

タイ國は最初農業國であつて、我々は單に農業方面に關心をもつただけであつた。平時は我々は農作物をもつて外國産の工業製品に換へることが出来たので、何等の困難を生じなかつたが、現在のごとき戦時下にあつてはそれが出来なくなつた。かゝる難局に處してタイ國政府は急速に國內工業の發達を畫し、工業省の設



置によつてこれが實現を圖つた。私は確言する、機械器具の不足によつて種々な困難に直面したにも拘らず、工業省の全活動は相當に前進した、機械器具が不足しても我々の必需品の一部は生産可能である。今日尙ほ一般に、衣類を買ふにも食糧品を買ふにも、欲するものは買ひ得る、尤も物價は現在幾分高いが、かかる困難は工業省の活動によつて減少せしめられるであらうことを私は確信してゐる。これらの總ては工業省の省員特に工業大臣、空軍中將ヴェチャヤン閣下の援助によつて達成されよう。同中將は非常の忍耐と勤勉とを以てよくその職責を果し、讃嘆に値ひする手段方法によつて困難を克服して來たのであつた。

私は今日の式典に際し私の最善の願望を省員諸君に托し、且つ三寶及び神々が諸君を守護し、その健康と繁榮に力を垂れ給はんことを祈るものである。

**政府當面の工業諸施策**

然らば斯かる觀念の下に、工業の發展に對して、實際

上如何なる施策が採られたか。要するにそれらの施策の根本目標は、生活必需品の自給自足を目ざしての増産若しくは新規製産である。これは本年一月二十八日の議會に於てヴェチャヤン工業大臣が、「政府は國民生活必需品生産のためあらゆる努力を拂ひつつある。一方民間業者に對する指導援助を興へると共に、各生産部門にわたり半官的の工場を逐次新設してタイ國經濟界の發展を促がしてゐる」と言明したことも明かである。

タイ國政府は先づ工業振興の實施機關として昨年二月十七日國務院布告を以て建設工業委員會を組織し、ピブーン首相自身委員長となり、石鹼、煉鋼、製陶、製糖等部門別に七小委員會を設け、其後間もなく別に執行工業委員會を組織して、これをマツチ、蔬菜、製粉等九小委員會に分つたが、九月兩者を合して國家工業委員會に統合し、首相委員長の下に産業部門別に小委員會を設けた。またこれと前後して従前の經濟省を二分して工業省と商業省とを獨立新設し、工業省は國防省と連繫分擔の下に直接工業振興策の實施に將た官營工場の經營に乗り出

すことになつた。

これらの諸機關の初期の業績としては、昨年六月陶器工場、製糖工場、紡績工場、各種日用品工場の増設を決定し、更に石鹼原料としての苛性曹達工場の新設を決定した等がその主なるものであつた。

八月九日には工業統制令が公布された。これによつて重要輕工業たる廿五種工業（精米、セメント、製材、織物、煙草、機械使用堅パン、酒類、ビール、砥石種油、鑄鐵製米、罐詰及罐詰、製糖、石鹼、製革其他）を指定してその製造に従事する工場は、當局の許可なくして賣却、委讓、貸與、移管等を爲すを禁止、これらを擧げてそれ／＼種類により國防省、工業省、大藏省の管理下に屬せしめた。

**豫算面に現はれた工業政策**

タイ國政府が工業擴張獎勵に對する熱意は豫算面においてこれを看取することが出来るが、昨年、本年の兩年度豫算から工業擴張獎勵施設として計上されたものは左

の通りである。(單位、銖)

- ▽佛曆二四八五年(昨年)度
  - 製紙業助成金 一四、〇〇〇
  - 棉業助成金 三六九、九四七
  - 紡績業助成金 一六五、三七〇
- ▽佛曆二四八六年(本年)度
  - 紡績業助成金 二二八、八九〇
  - 織物業助成金 八〇、〇〇〇
  - タイ林業株式會社投資 五、〇〇〇、〇〇〇
  - タイ鑛業・ゴム株式會社投資 一一、五〇〇、〇〇〇

タイ紡績株式會社投資 八五、四八二

右のうち昨年度豫算は、タイ國の參戰によつて編成替へされた更改豫算であるが、尙ほ充分なる工業擴張策樹立には時日尙ほ淺く、豫算面には未だ積極的施設の現はれるものなかつたが、本年度に至つて漸く施策も緒に就き、積極的にその片影を現はすに至つた。即ち國民生活必需品の隨一たる綿布生産の必要から紡績業助成金は昨

年度より一躍八三、五二〇銖増額し、織物業助成金を新設した上、タイ紡績株式會社に投資してゐるのは如何に斯業に重點を置いてゐるか判る。其他の二會社も亦官營によつて最近新設されたものである。

### 勞力資源獲得への二政策

タイ國政府は工場統制令の運用、工場の新設等によつて直接工業の振興をはかる一方において、これと平行してあらゆる角度から研究して、増産準備に、資源獲得に勞力の吸収に、國民の産業熱昂揚に、種々の方策を講じた。それらの方策のうち具體的に實現されたものを列挙すると、

- 一、國民皆勞制の施行及び囚人利用による勞力資源の獲得
- 二、棉、砂糖其他の栽培擴張による工業原料の増産
- 三、紡績其他の講習所設置による技術者の養成
- 四、新資源の利用による生活必需品代用品の製造
- 五、機械製産の補翼としての家庭手工業の奨励

囚人の工業方面への利用は今に始まつたことではないが、今回の工業擴張による増産に對して、特にその勞力が大なる期待を以つて迎へられるに至つた。現在タイ國內には一萬五千人ほどの囚人がゐるが、その大部分は既にそれらの方面において技術的訓練を受けてゐるのでその利用によつて得る勞力は輕視すべからざるものがある。囚人の利用が初めて行はれたのは一九三二年で、タイ國の特産たるチーク材を材料とする家具什器等の製作に當らしめた。最初はその収益も微々たるもので、一ヶ年三、一六三銖程度のものに過ぎなかつたが、囚人の増加と設備の完成を俟つて生産量は逐年増加し、一九三六年には一〇、八一五〇銖、一九三九年には六三、三六五銖、一九四二年、即ち昨年度には四六九、九七七銖と飛躍的に増加してゐる。

### 重點輕工業紡績と製糖

第二、棉、砂糖の栽培擴張による工業原料の増産は、紡績工業製糖工業の基礎として農工相關の重要産業である。

六、ラジオ放送、文化祭、展覽會等あらゆる機會を利用しての工業獎勵宣傳

以下各項にわたつていさゝか説明を試みよう。

第一、勞力資源獲得を目的とする國民皆勞制は、昨年十月十五日勅令を發したもので、學生、僧侶、不具病弱者を除き、五十五歳以下の成年男子はすべて職業に就くべき義務あることが規定された。これはタイ國の習慣は我國などとは異つた特殊事情にあり、家族一人が働いて他の男子はたとひ勞働力を有してゐても、これに依存して徒食するといふ習慣に多年慣らされ、随つて懶惰の無職者が多かつたのであるが、これらの無職者を動員して増産方面に振り向け、大量の勞力資源を得ると共に、積年の惡風を一掃する所以であるといふ一石二鳥を狙つたものである。この勅令施行にあたり政府は新にケー・ピー・オーなる一局を設け、その下に五委員會を設けてビーン首相總委員長となり、委員會の指示に随つてこれら勅令該當者をそれら農工商の職域に振り向けるといふ制度にしてゐる。

タイが目下自給自給を必要とする生活必需品は棉製品、砂糖、鑛油、煙草、マツチ、石鹼、化學藥品等多數にのぼるが、この中當面喫緊の問題として開發を要する物資は綿製品と砂糖であつて、随つて現下工業擴張もこの二者に重點を置いてゐる。タイの棉作は從來不振とはいへ、立憲革命以來新政府によつて奨励されて來たもので、毎年タイ國財政として相當多額の助成金を設定し來つたものである。しかしその産額は米作を主とするこの國として、いふに足りないものであつたが、今回の劃期的新政策によつて、棉作耕地は逐次擴張され、増産に資することになつた。昨年九月八日内務省令によつて向後新に農園を開拓する場合は、從來の如く米作を許さず、専ら棉作耕地とすべきを命じたのもその政策の現れである。昨年度の棉作助成金は三四八、四七一銖といふ巨額にのぼつたが、この方面の政策も一應所期の成果を挙げ得たものの如く、本年度に於ては八七、一二〇銖に減額されてゐるが、一方「農事助成金」の款項が新設され、甘蔗栽培その他を包括して柔軟なる様式のもとに必要額

の助成金をこの資金より流用する方式を執つてゐるから、事實上減額とはいへぬのである。

製糖方面においてはタイ國としてはワボン縣に僅に五千ライの甘蔗の作付を有するに過ぎず、毎年四、五萬廳の砂糖を主として瓜哇から輸入してゐた。これに對して一萬五千ライを目安に新耕地開拓を奨励し、從來ランパンに一ヶ所しかなかつた製糖工場を更に五ヶ所増設の計畫を樹て、着々として實行に進んでゐる。

### 技術者養成その他

第三、紡績其他の講習所設置による技術者の養成は、從來タイ國の工業製品に對する外國依存は随つて工業技術の貧困を告げ、技術者の養成は焦眉の問題となつた。これに對して我國としても極力援助を與へてゐる所であつて、タイ國政府としても、たとへば紡績技術に對しては、北部、東北部、東部地方二十五縣にわたる棉作適地に、今春以來百數ヶ所の紡績講習所を設け、各講習所に六十名内外の講習生を收容し、講習期間を三ヶ月として

専ら訓練を施してゐる。

第四、新資源の利用による生活必需品代用品の製造に對しては種々の創意が盛られつゝあるが、その二、三の例を挙げると、葦からゴムを採取する方法や、南洋特産の檳榔子や蒟醬を製革に利用する方法が発見され、工業化しつゝあるなどその適例である。

第五、機械製産の補翼としての家庭手工業の奨励は、由來タイ國が工業の發達が遅れてゐただけ、機械工業の不振に反して原始的工業たる家庭手工業は比較的普及してゐた。政府はこの點に着眼して、一方機械工業の促進をはかると同時に、この手工業を奨励して、之れに一部の増産を負擔せしめんとするものである。

### 國慶日に於ける農工展覽會

第六、ラジオ放送、文化祭、展覽會等、あらゆる機會を利用しての工業奨励の宣傳として最も代表的のものは本年六月廿四日の國慶記念日を中心に行はれた農工展覽會である。これは現在に於けるタイ國の機械工業力の一端を國民に展示すると共に、前記の家庭手工業の奨励を

兼ねたもので、國民の工業熱を煽るに充分の成果を挙げたものである。試に左にバインコーク・クロニクル記者の參觀記を譯載して本稿を了らう。

この農工展覽會は記念日の諸催し中最も成功したもので、バインコークで開かれた總ゆる展覽會中最上のものとさへ激賞されてゐる。これは新興のタイ國工業が何の程度に發達してゐるか、また天然資源としてどんな物があるかを示し、同時に政府が熱心に奨励しつゝある地方農村に於ける手工業の實情を示して、大いに斯業の鼓舞奨励をはかつたものである。

展覽會に種々出陳された中で、最大の歴史は煙草の製造であつた。チャンワット・パニット會社と官營工場によつて出陳されたもので、葉巻や紙巻の製造過程を見せる所が一般の人氣に投じ、非常の人氣を集めた。藥筒に入つた種痘用の牛痘、血清其他の藥品類が赤字の部門に陳列されたが、いづれも國産品なので、これまで専ら外國に輸入を仰いでゐた此種醫藥が國內で出来るやうになつたといふので、人々は大いに意を強

うした。

砂糖、紙纖維、網などの製造や搾油などの技術が、農作原料から製品になるまでの過程がそれ／＼各部門毎に専門家の説明入りで展示された。農産物や鹽物などの天然資源も陳列されて、その開發に對する國民の努力と精進を暗に要求してゐた。竹製の家具、藁その他の國內原料による筵、スリッパ、各地方産の陶器類、土器類など多數の品種が出陳されたが、これらは政府が目下懸命に奨励してゐる農村工業、家庭工業の進歩に對して、多大の貢獻をなしたといはれる。

現在のタイ國に特に顯著な進歩を遂げつゝある紡績織工業では、多數の陳列室が提供され、それ／＼の部屋に紡車が廻り、製織機械が動き、その間多數の男女が操作する光景や、絹、綿が眼前に繰られて、立派な反物になる情景を見て、來會者はいづれも満足の色面であり、且つ激勵を受けた様子であつたのは、絶えずその前を人集りがしてゐたのでも明瞭であつた。

# 日泰經濟關係當面の諸問題

## Ⅱ スックサワート 泰國商務官懇談會

大阪日泰協會では八月二十一日新大阪ホテル會館に於て駐日泰國大使館附商務官兼財務官モムチャオ・ブラソップスック・スックサワート氏を招待して、日泰兩國經濟關係における當面の諸問題について種々懇談を遂げ、多大の收穫を得た。席上稻畑同協會々長の挨拶、ス商務官の挨拶があつた後、同商務官と協會々員たる諸會社代表者等業者との間に種々質問應答が交はされた。それらの内容は現下の兩國經濟關係を知るべきものとして、左に録載する。

### ス商務官挨拶 (要旨)

本日此處に御出席の各位は大阪の經濟界及び財界に最も重要な地位を占めて居られる方々であると承知して居ります。今日以後日泰兩國の關係は舊に倍して益々親善緊密の度を加へて行くものと期待して居りま

す。若しも各位に於かれて何か御不審の點がありますれば御遠慮なく御訊ね下さいませう、私共としては力の及ぶ限り詳しく御説明申し上げたいと存じて居ります。先程大阪に於ける泰國名譽領事の安住氏とも語り合つたのでありますが、日泰兩國の關係が今日今迄になく友好緊密さを

増して居ることは實に愉快なことであると存じて居ります。實は以前から協會の各位より度々當地へ御招待を戴いて居りながら、今日までそれを實現出来ず、眞に失禮ばかり致して居りましたが、これといふのも一つには丁度私が在京中泰國のヴィジツト外務大臣が日本に見えて私も何かと多忙を極めた爲め思ふに任せなかつたからであります。今回恰もマライ北四州及シヤン南藩州中二州が泰國領土として泰國に編入せられるに至りましたことは、

日本の泰國に對する深き友愛の現はれと存じて深謝して居ります。私はずつと以前から日泰兩國の利害關係を一層親善緊密に進めて行きたいと念願して居りました。日本の泰國に對する強い友愛の氣持は吾々にも以前からよく解つて居たことで、その強い氣持に對しては常に敬服して居つたのであります。私が外國に留學して居つた頃から吾々は同じアジア人として共同の氣持から常に相互の理解を深めることに努めて來たのであります。斯かる兩國民間の理解ある氣持は更に深い關係にまで押進めて行かねばならぬと思ひます。何故なれば吾等兩國は同じ光榮ある東亞獨立國であり、同じ信念と氣持を有つて居る國々だからであります。

同時に吾々は亦之を最も重要な經濟問題に對しても、お互ひに話し合つて行かなければならぬ。泰には日本の必要とする物資が非常に澤山あるやうに、日本も泰國の必要とする色々の物資を有つて居りますから、之を相互に交換することは兩國共に非常に有意義なことであると思ひます。此やうな經濟的な結合が生ずれば、其處に自然又財政の問題も起つて來る。その二つの問題に對してもつともつと深い關係が結ばれば、何時までも兩國の關係は親善且つ強固なものと思ひます。

乍併財政及び經濟方面の問題が如何に難しいものであるかは、私から申上げる迄もなく、之は相互のよき理解の上に基礎を置いてこそ初めて

旨く行くのであります。泰國側ではピン首相自らが起つて如何なる難關障礙があつても日本とは飽く迄親善を維持する決心であります。而して政治方面軍關係方面經濟方面に對して泰國は日本と旨く協調を保つて行く決心を有つて進んで居ります。之に對してはどうしても日本財界に重要な地位を占めて居られる方々の御援助が必要であります。御承知の通り過去に於ても泰國と日本とは多くの障壁を排除して色々な商賣をして來ました。又泰國に於ける所謂華僑は泰國内に於ける商賣の實權を握つて居つたのであります。泰國政府は常に日本人にも同様に旨く商賣をやつて貰ふやうに色々の方法を考へて居つたのであります。私は此



度日本に泰國大使館附財務官兼商務官となつて参りました。斯くして日本と泰政府の間、又泰政府と日本の經濟人の爲めに兩國の關係を更に一層親密なものにしたいと斯う念願して居ります。併し之に對しては矢張り日本朝野の有力な方々の惜みなき御支援を得なければなりません。斯くして日泰の經濟關係は將來永く圓滿緊密に進んで行くだらうと思つて居ります。(拍手)

### 質問應答

(山本協會理事長司會)

問(岩田産業) 泰國に於ては日本人に對する企業權を認めて居らぬやうだが、日泰合辦の事業なら認め

答(スクサワット商務官) 今泰國に於ては日本人商人に限らず各國人に對して一様に統制して居る。此統制は泰國に限つたものでなく、各國とも同様に實施して居る所である。日本でも泰國人に對して統制が布かれて居る。併し此統制は戰爭終了後早急に廢止されるものと思ふ。日泰兩國人の合辦事業は大いに歡迎するは勿論で、之は泰政府の方針にも合致する。現に此種の企業は泰國内に若干あり、今後次第に殖えるものと期待する。今日本では戰爭のため民間工場中には閉鎖したものがあつたが、之等

問(田邊製藥) 醫藥品に對しては我業界に對して如何なる希望があるか、其の數量は一ヶ年何の程度を要望するか、品物の種類は如何なるものを必要とするか、泰國に於ては最近公定價格設定の計畫がある由なるが、其の基準、方法は何うか。又關稅率は何うか。廣告に關して指導性ある新聞紙の發行部數は何の位あるか。又最もよく讀まれて居る雑誌は何ういふものか。

答(商務官) 日本から來る藥品は泰國では有名になつて居るものが多い。良いものも悪いものもあるが今有効に使つて居る。泰國へは未だ澤山日本から藥品を輸入する必要があるから、歸京したら尙よく調査して返事しよう。泰國にはマ

ラリヤが非常に流行するから、キニーネを多量に輸入せねばならぬ。最も多量に要する藥品はキニーネである。

泰國では藥品の値段を統制して居る。併し其値段は一般需要者も買ひ得るやう又商人も多少口錢のあるやう統制して居る。藥品の税金は非常に低率である。中には無税のものもある。稅率は種類に依つて色々違つて居る。今泰で發行する新聞は四ヶ國語(泰國語、支那語、日本語、英語)に分けて印刷して居る。大新聞としてはタイラット(發行部數約五萬)カープラー等である。雜誌も一時非常に旺んであつたが、紙が近來非常に少くなつた。日本より紙を供給を

して貰へばモット雑誌の印刷も出来るが……

山本理事長

泰では文官征服運動が旺んで期限を決めて所謂青年教育を行つて居るさうだ。

問(山本理事長)

日泰間の航空郵便は向ふからは來るが、こちらからは向ふへ行くものは停止して居る。

答(商務官)

御希望の點は了承した品(山本理事長)バンコックの輸入品の通關には一ヶ月の日數を要する。

稅關の上屋に山と積んである荷物の中から綿布なら綿布の全部の荷物を引出すことは容易なことではなく、非常な手數と自然日數を要する。

問(安宅産業)

泰國に於て邦人商社が新たに中小規模の輕工業を計畫する場合、泰國政府の許可を要す

するから一部分引取りを許可すれば片ツ端から荷物が片付き上屋の整理も早く出来る。荷物の一部引渡しを願へるやう御注意願ひたい。尙上屋の設備改良をも希望したい。

答(商務官)

通關の遅れる原因は一つには係員不足のこともあるかと思ふ。併し御注意の點は當方より向ふの稅關へ移牒しやう。尙荷物の一部引渡し許可の點は、一部不良商人の脫稅行爲にも關係すること故全般的に認めることは困難な事情があることを御諒承願ひたい。

### ○タイ國の資源

年度	産	高
米	(一九三九)	三,100萬石
ゴム	(同)	四,000噸
玉蜀黍	(同)	六,000噸
石炭	(一九三七)	二,000,000噸
錫	(同)	二,000噸
鐵	(一九三六)	100,000噸
燐礦石	(一九三七)	100,000噸
其他、砂糖、茶、コブラ、胡椒、 コーヒー等		

るや。或は自由に着手し得るものなりや。許可を要する場合及び自由なる場合の事業の種類、性質、規模の大小に就いて伺ひたい。

答(商務官) 新たに工場を建設する場合には政府の許可を要する。之は外人の場合に限らず泰國人と雖も同じく許可を要する。尙工場建設の希望があれば具體的の問題に就ては當方に深慮なく御相談を願ひたい。精々吾々の方でも應援させて貰ふ積りである。

問(桑原官吉氏) 日本人に對する土地の所有權或は賃借は何うなるか例へば工場を建設する場合土地の所有權或は長期の賃借は許可されるものか。

答(商務官) 工場を建設する場合借

地權は許される。相當長期間の賃借が許される。日、泰合辦の場合には土地の購入も出来る。但し普通の場合に於ては土地の購入は素人と雖も統制されて居る。日泰兩國の經濟關係は現在のみでなく平和克復後も一層緊密さを加へるであらう。今は戰時中で色々厄介な問題もあるが、各位は將來のことをも考へてよく御理解して戴きたいと思ふ。私は以前から日泰の關係はもつともつと緊密化すべきものと考へて居る。戰後各位の一層の御盡力に依つて兩國の貿易が益々増進されんことを希望して已まない。(終)

## タイ民族の造形文化 (三)

カルル・デェリング  
勝見 勝譯

### 建築

タイの建築は、熱帯地通有の例に洩れず、その形状に極めて多種多彩の發達を示してゐる。タイの建築を壯麗なものたらしめた要因は二つあつて、すなはちこの民族が佛教に捧げ來つた宗教的熱情と、その手本にされた熱帯植物界の豊富さである。なかでも絢爛たる建築様式と寺院建造物を發展せしめた偉大な推進力は、由來タイの諸王が極めて熱心な佛教の歸依者であつて、かれらの絶對權力をその宗教の尊重に向け數多くの記念寺院を建立したことに存する。

タイの建築術は、半島全地におけるそれと同様に、その

究極の根元を訊ねれば南部印度に發するものであるが、然し長い時代の推移のうちに、この地においては、今日の印度のそれとは實質的に甚だ相違した、強く民族的な特徴をもつ個有な建築様式をつくりあげてゐるのである。

その發展は極めて徐々になされていつた。様々な點において、そこには古い傳統を墨守しようとする強靱な努力がなされたことが看取せられるのであつて、従つてこれだけの進歩がなされるためには想像もつかないほどの長年月が必要であつたことがわかるのである。屢次の破壊的な戰爭によつてタイは住民の數を減じ、北方における古い諸主要都市は壊滅し、遂に一七六七年にはアユチャがビルマ人によつて燒盡せられた。この時以來メナム河



口のバングコックが同國の首都となつたのである。勿論タイにもヨーロッパ風の建築様式が導入せられた——最初は宮殿建築に、後には相當程度まで普通の住宅建築に——。しかしながら寺院建造物のみにおいては、今日もなほ古代佛敎的傳統と純タイ風の様式が採用されてゐる。タイにはなほ繊細と美の極致をつくり出す一團の美術家の群が今日も現存してゐる。これらの建造物はその規模の大なる點において古代埃及の建造物を彷彿せしむるものがある。強大な専制君主の意志のみが、かうした大規模な建造物を完成し得るであらう。例へば一七八九年に建造されたバングコックのある寺院の如き、その作業場には二萬の勞働者が動員せられたと言はれてゐる。

タイの佛敎は南方佛敎である。佛敎はタイにおいては眞に民族宗教と稱はれ得るものである。今日においてもなほすべてのタイ人は、その生涯のうちのある時期を、僧侶として僧院に過さなければならぬ。宗教といふ語はタイにおいてはなほ單なる空辭となり了へてはゐず、むしろ建築方面の大事業をなさしむる強大な發動力と目

せらるべきものであつて、さうした方面において、宗教的熱情は美術的感興と、或は極めて特異な美の感覺と結合してゐるのである。

今日においては古い建造物はすべて潰滅し、現存するもので百五十年以上の歴史をもつものは稀な状態であるが、それにも拘らず、古い藝術は多くそのまゝ保存されてをり、新しい建造物の平面圖、全體的構成、裝飾的技巧などを古い建造物のそれと比較してみるとき極めて相似してゐることが認められるのであつて、そこには顯著な相違が存せず、その兩者を距てゝある時間的な距たりといふものが、殆んど無視されてゐることを示してゐる。

この寺院建築と逆比例して、タイ人の一般住宅は益々輕視せられる風があり、民家は通例極めて貧弱で、この寺院と民家の大きさの比によつて、華麗かつ大規模な寺院を益々際立たしめてゐる。

タイの寺院は例外なく僧院と結合されてゐる。民衆の深い宗教心の結果、總人口のうちで僧侶の占むる人口比

率は甚だ高いものになつてゐる。バングコックにおいては舊市内の六分の一は寺院の敷地である。そこには無数の僧院があり、各々數百名の僧侶を擁護してゐる。従つてすべての寺院組織はこれを二つの部分、すなはち祭式建造物と僧侶街、とに別けることができる。この二つの部分は牆壁によつて仕切られてゐる。祭式用の建造物が石造りでがつしりとしてゐるのに對して、僧院は多く木造である。僧侶の居住地はそれだけで一つの小さな町を形成してをり、その中を道路が縦横に通じてゐる。タイ佛敎の嚴格な寺院規約は組織的な教權制度をつくりあげてゐるのであるが、それがまた僧侶街の教規に強く反映してゐる。大僧正の住居は常に高い位置を占めるやうに建築設計の上から考慮されてゐる。

祭式用の建造物が本來の寺院を表徴するものであるが、それはよく調和のとれた、吟味された全體設計によつて美しい統一的な左右相稱的構造にまとめられてゐる。最も重要な建造物は本堂であつて、これが全體の中央に位するやうに考慮される。本堂のなかに本尊の釋迦

像が安置されてゐるが、この釋迦像は東方に向き、同時に寺院の全施設物の位相を決定する。タイのすべての寺院にはそれぞれあの程度まで宇宙を象徴せしめるといふ意圖が含まれてゐる。本尊の釋迦像が中心點である。

タイの寺院の本堂の平面圖は、希臘神殿のそれに甚だ近似する。小規模の寺院には廂室が一つだけのものがあるが、その場合その廂室には東西兩側に本門をつけることが許されてゐる。寺院には入口はたゞ狭い側面の方にだけ取附けられる。小さい寺院では東側に、すなはち佛陀像の眞向ひに、たゞ一つだけ入口があり、大きな寺院では狭い兩側方に三個づつまでつけてゐることになつてゐる。然しながら後者においても、動行廣間だけは圓柱をもつてめぐらされてゐるのが普通である。さうした廻廊がついてゐる場合、廂室の長い側方の圓柱の距離は正面の側のそれよりも小さくなつてゐる。稀には圓柱廻廊の側方の長さが同じであることもある。

タイの建築様式が西歐のそれと相違する點は、平面圖および建物において常に一定の數的比率が保たれて

ゐることである。それはどういふ比率かと云へば、一對一、一對二、一對三、二對三、三對五、その他である。恰度われわれの耳に音楽においてさうした振動数をもつ音の組合せが快く響くやうに、タイ人の眼には、さうした數的比率が調和したものとして映るのである。ところがこゝに特に興味深いことは、タイ人は音楽においてはさうした比率を全然問題とせず、われわれの耳には不協和としてしか感ぜられないやうなものを協和音としてゐることであつて、恐らくタイの音楽はヨーロッパの音楽とは異つた原則の上に築かれてゐるものであらう。同様に、西歐の建築様式におけるさうした數的比率の缺如は、タイ人には不満足に感ぜられるであらう。

有名なプラバトムのストウーバ(塔婆)は、底面二二六米平方である。その中央に高さ一一八米の大きなブラチェデイが立つてゐる。従つてその高さと底面の比率は一對二である。ブラチェデイそのものは露臺から上の高さが九八米で、その直徑が九八米である。寺院の高さは通常その底邊の二倍であり、門口、窓などもその高さは

幅の二倍のものが多い。斯うした數的比率は墓地建物、および聖遺物保護建造物において特に目立つ事實であつて、それらにおける幅に對する高さの比は概ね一對二である。しかしながらまた極めて細長い建物、例へば一對五の比率の建物などもある。

バンゴックの大迦藍ヴァト・スウタート寺はその本堂の敷地が矩形をなしてをり、その門口と奥行の割合は二對三である。その平面圖においては、動行室の隅を結ぶ對角線はまた圓柱廻廊の隅をも切截する。これは希臘の建築様式に於ても禮拜室と圓柱廻廊のあひだにこれと似た關係を見出し得る。

バンゴックの火葬寺院ヴァト・サケート寺には圍壁がめぐらされてゐるが、その圍壁は横七五米、縦一五〇米であつて、これも一對二の比率を示してゐる。その圍壁のなかには二つの建物群があることが見てとられ、前のものは本堂を含んで中央に位し、後のものは末寺を含んでゐる。本堂の周圍には、その中に内庭を圍むやうに控室がある。この内庭の中央に本堂が聳え、その本堂は八

つの本堂隅石によつて境界をつけられてゐる。この隅石が聖域を區劃する。ところが今こゝに此の八つの隅石によつて圍まれる矩形に對角線を引けば、それは寺院全區域の對角線と平行して走つてゐることが明瞭になる、すなはち本堂敷地の幅と長さの比は全聖域の幅と長さの比に等しいのである。更にまたこの對角線に動行室とその廻廊の角をも切截するのである。そして此の一對二の比率は動行室と廻廊の兩平面圖のあひだにも及んでゐる。従つて全敷地、聖域、廻廊、動行室の四つは、連續的な比率を保つてをり、ともに相似した矩形を畫いてゐることが明かになる。

背後の建物は末寺を含んでゐる。此處においては動行室とそれを取圍む四つの小さな、開放された圓柱控室は二對三の比率を保つてゐる。更にまたこのあとの四つの對角線をもつて畫かれた一つの矩形も同様の比率を示してゐる。

數的割合においては特に奇數が重んぜられることが目立つてゐる。タイにおいては奇數は力、男らしさ、および

び幸福の象徴として考へられるのであつて、例へば本堂の窓の數は奇數にされなければならない。大抵の場合窓は長い方の側面に五つ宛であるが、その數は十三まで増すことができる。これに做つて、階段狀の傘の階層も常に奇數である。熱帯地の印度においては、傘の下を逍遙することが、單に快的だといふばかりでなく、それは名譽の象徴と考へられてゐる。階層の數がその人の階級を示すものである。そこから先に述べた階段狀の傘が築かれることになつたのである。これはまた墓標の頂端にある蓮華の數にも適用され、それが模様化せられた階段狀の傘になるやうにされる。

兩側の本門の屋根は、幾重にも竝んだ柱の列によつて支へられる。以前はこれには必ず圓柱が用ひられる慣例であつたが、最近ではその代りに角柱が用ひられることも多くなつた。柱には蓮華の柱頭が刻まれてあり、また豊かな脚柱彫刻が施してゐる。然しこれは單に柱だけではなく、寺院全體にさうした裝飾が施されてゐる。タイにおいてはこの蓮華の代りに、胚葉が刻まれてゐるもの

も存するが、胚葉を彫刻圖案としたものは、タイの外には埃及にその例が見られるだけである。なほこの外に埃及の建築術を想起せしむるものは精緻な密畫を施した壁と柱である。寺院の内壁を絨氈で蔽つた如くに施飾する壁畫もまた、埃及の藝術に多くの類似點を見出す。すべての支柱と壁柱は寺院の中央に向つて傾斜せしめられてゐる。それは軽い、細つそりした均衡を保つやうに考案されてあつて、寺院に活氣と向上の外觀を與へるやうにされてゐる。

建物は上部が極度に細くされてゐる。これは特に墳墓および聖遺物建造物において著しく認められる。そして單に建物全體がさうであるのみならず、柱、壁、戸、窓といった個々の部分も上部が著しく細くされてゐる。支柱と壁柱の軸は、すべて建物全體の中心からはるかに上に位するやうになつてゐる。

このやうに、嚴密な意味ではタイの建築には垂直といふものがない。壁柱の軸はそれが建物全體の中心から離れたところにあればあるほど、益々垂直線から遠ざかつて

てくる。ところがこれとは逆に切妻壁は外の方に突き出てゐる。支柱や壁柱のこの斜角的な構造によつて寺院の建物は實際よりも大きく、そして全部の開口は遙かに細つそりと見えるのである。タイ建築家が忌避するのは單に垂直線のみではなく、かれはまた水平線をも氣付かれない程にはあるが稍々傾斜させるのである。建物の敷地としての地面は、その狭い地域から言つて、それ自身としては殆んど水平と見ていゝであらう。ところが遙か下部の横断面は極く僅か彎曲させてあり、そしてそれは高さが増せば増すほど多く彎曲させてある、これが最も著しいのは屋根の棟である。そして更に、角をなすものはすべていくらか持ち上げられてゐるやうな氣味がある。これは古代の建築において甚だ著しく目立つ事實であるが、最近では次第に重んぜられなくなり、殆んど忘却されんとする状態である。

建築術に關するわれわれの觀念から遠くとび離れてゐるものは中央斜接線の法則である。タイの建築には角の反復および渦形持送が他の何處の様式においてよりも多の法則の適用によつて、ヨーロッパの建築物に見られない雅致が多く生み出されてゐる。水平線が軽く垂下し、角が少し持ち上げられてゐるために、角は單に上向くだけではなく、必然的に對角線の方に引き出されてゐる。タイの建築は高く聳立する外觀を備へてゐるものであるが、その印象は玄關屋根、墳墓および聖遺物寺院、鐘塔、寺院の隅石、およびその他の記念建造物などにおいて、それに多くの、高く聳えた尖塔がつけられてゐることによつて、一層引き立たしめられる。

タイの建築術は單に角を二つ若しくはそれより多く横に反復して並べること愛好するのみならず、各部分を上下に反復する方法をも好んで用ひるものである。この上部を細める様式が特に優れた効果を收めてゐるのは墓標であつて、墓標は枕や蓮華の形をしたものを無數に積み重ねたやうな構造になつてゐるが、その大きさは上になるほど急激に遞減させられてゐる。

效果的な輪廓の線をもつ奇抜な屋根が建物の冠となつてゐる。それは鞍形屋根であつて、數段の階層をなして

く使用されてをり、例へばバロック様式においてよりも遙かに多く使用されてゐる。タイの建築には壁柱が好んで用ひられ、また正方形の地面に小さな建築物を建てるのが好まれる。すべてこれらの建築物の角は數次反復され、多きは九回まで反復される。蛇腹または壁柱の渦形持送において、われわれなれば常に切線を四五度以下にするのであるが、タイにおいてはこれ等の線はすべてその敷地たる正方形の中心點を指示するやうになつてゐる。その結果として、角のところにある蛇腹は、それが中心點から遠いところであればあるほど大きいといふこと、そして脚柱または建築物の頂點におけるすべての側面は究極的には一つの點に集まらなければならぬといふことになる。それによつて建築物の美しい釣合と均齊が保たれ、またそれによつてのみ一つの壁柱の尖端に豊かな、多角的な側面を浮き出させることができるのである。四五度以下の西歐流の切線および斜接線ではこれは決して切ることではできないものであつて、従つてそれによつては側面を尖端まで押し進めることはできない。こ

高くなつてゐるが、その端は瀑布のやうな階段をなしてゐる。それは古代北方人種の屋根庇と甚だしく類似してゐる。跳ね上つた棟の線は、その端が角の形をした、突き出した尖端で終つてゐるが、この尖端は模様化された蛇もしくは龍の頭をあらはしてゐる。軒の稜角の下端にも多くの蛇が頭をもたげてゐる。屋根は色つけして滑澤した小さい瓦によつて蔽はれてゐる。地色は黄金色である。屋根の縁は濃藍色、もしくは暗緑色、もしくは深紅色、もしくは暗褐色のかなり広い線が引かれてゐる。屋根の表面そのものもヨーロッパの建物とは異つてゐて、恰度天幕を張つたやうに平面が垂下してゐる。屋根の木造部はすべて厚く鍍金され、大部分に金象眼が施され、切妻壁の三角は豊富な彫刻と寓意的な繪畫をもつて裝飾され、隆起した部分に金鍍金が施され、下地は著色した平面象眼が施されてゐる。破風屋根の突出部、遊歩場の屋根、および寺院内部は濃い赤ワニスをもつて塗装され、雅致ある、金色の平面模様をもつて覆はれてゐる。

今日支配的な地位にある南方タイ人の侵入以前は、

ながら最も優れた裝飾品を生み出すものは眞珠母象眼細工（螺鈿）である。しかし残念なことは藝術作品のこの部門は次第にその跡を断たうとしてゐる。近時政府は工藝學校を多く興して、その断絶を食ひ止めようとしてゐる。

タイの建築家は建築物を設計するに當つて、定規や角度計を用ひない。しかもその方法で造りあげられたタイの建築物には少しも不安げがなく、むしろ非常に安定感を與へる。建造物の柔軟な線の流れは、建築家がその設計圖を描くにあつて、素手に軟かい繪筆を持つて黒い紙の上に白い水彩繪具をもつて圖を描くことに負ふところが多い。

一個の寺院は、本堂の外に他の多くの家屋を含んでゐる。一個もしくは數個の末寺をもつことがあるが、その數は宗教的な規定によつて限られてゐるのではなく、中には本堂だけのものもある。それに外壁がつき、鐘樓、説教場、書庫、塔建築物、墓建築物、聖遺物、建築物、遊歩室、戶外柱廊、火葬場、寺院の境界標石、聖樹、佛

イにおいては石塊だけが建築の素材だつた。一三五〇年になつて、新しく移住した諸族が煉瓦建築法をもたらし、この時代以來タイにおいては殆んど煉瓦だけが建築素材として用ひられるやうになつた。石の建物には豊富な裝飾物が浮彫にして刻みこまれてゐる。煉瓦が石に代つて發場するやうになつてからは、簡単な建物は白く上塗りをし、大規模のものは外殻を張られるやうになつた。それによつてタイの建築様式は素晴らしい華麗さを表はしてゐるのである。寺院全體がフェイヤンス焼、もしくは大理石、もしくは更に磁器、および彫塑のモザイクなどで被はれてゐるものすら見出される。戸および窓の枠は丈夫な木の厚板から成つてゐる。ガラスの窓はタイの建築にはまだ知られてゐない。そしてまさしくこの戸および窓の開閉扉はタイの工藝の見世場である。それは全體が浮彫で被はれてゐるものが多い。しかし更に多く使用されてゐるは黒金漆加工である。これはタイにおける民族的な技術である。この技術によつて土著の工藝者は豊富かつ豪華な形態を描き出すことができる。しかし

陀の足形を保存した建物、その他多くのものが附屬する祭式用の全建物はそれだけ牆壁によつて區劃される。數多くの門を通つて中にはいと、そこに正方形の石板を敷きつめた外苑がある。そこには墓建造物と聖遺物、建造物、戶外柱廊、その他附屬建造物がある。それらのものはすべて大規模な全體の構造によく調和するやうに考慮されてゐる。

内苑は長方形の遊歩室に取り圍まれてゐる。その四邊の各中央には壯大な門が嚴密に四方の天に面して、タイ人の言ひ方によれば地の四邊に面して、立てられてゐるその通路の内側と外側には警護のための門衛が置かれてゐる。その門衛には緑色の大理石に驚くべき完全な石工技術を加へてつくられた様々な支那彫刻物が嵌められてゐる。中には高さが八米もある、フェイヤンス焼をもつて上を被はれた、巨大な煉瓦造りの門衛もある。

遊歩室には外苑に面しては窓は一つもない。内苑の方には窓が二つの柱のあひだに開けてゐる。壁の内側には同じ高さの、人長より稍々高い青銅の佛像がづらりと並



んでゐる。内苑の中央に本堂が立ち、その周囲に八個の寺院隅石がある。この隅石は聖域を區劃するものであつて、こゝには地上的な權威は立ち入ることができず、たゞ寺院の大僧正のみが支配權をもつてゐる。金色の佛像が立ち並び、俗世から絶縁せられたこの遊歩室の中には、壯嚴な寂寞さが満ちてゐる。厭はしい生存のための日常の闘ひも、その狂燥な力を此處にまで及ぼすことはない。

その多彩多色なるにも拘らず、その置物・裝飾物の夥多なるにも拘らず、全體的な構成の均齋は決して損はれてゐない。大きな線をもつて全體が支配され、全寺院はもとより建物の各部分にいたるまで總べて美しく調和が保たれてゐる。偉大なる世界超克者・佛陀の教説から得られる靜穩と深い智慧、善と明徹は、すべてここに形を成して宿つてゐると言はれる。佛教がその深い内的體驗となつた藝術家のみが、かくも深い宗教的な熱情の所産たる寺院を建設し得たのである。ここにおいてほど、建築、彫刻、繪畫をはじめ、その他すべての部門の美術工藝が藝術品の完成に力を合せ、また調和を現出したもの

れを筆頭として、恍惚たる筆致をもつて卷を埋めてゐるのが普通である。

宗教的な建築物において、プラチエディは大きな役割をつとめてゐる。これらの聖遺物建造物は往々にして佛陀像を祀つた建物よりもより多く尊崇される。それらの建造物を尊崇するために盛んな祭が行はれるが、タイ人がさうした建造物に、建築術においてまた祭祇に於て顯著な位置を與へてゐるのは、佛教においてその占むる意義から見ても當然なことと考へられてゐる。タイの史書においてはプラチエディに關する記述が甚だ大きな部分を占めてゐて、それは西歐の史書における教會や僧院に關する記述の比ではないのである。そして古い時代に於ては、寺院についてよりもプラチエディに關してより多く語られてゐる。

とりどりの墓の形といふものは、最初の簡単な土饅頭からそれぞれの土地で違つた風に發展してきたものである。例へば北歐における巨石塚、埃及におけるピラミッドの如くである。印度においても早くからこの墓の形を

は世界の何處にも存在しない。

三〇

### プラチエディ

全般的な寺院建築物について記述する外に、特別に取上げる價値のあるものはプラチエディである（これは簡單に譯語を當てれば墳墓・聖遺物・記念建造物などの意である）。この禮拜堂は無數に存在し、また極めて特色のある形態をもつものであつて、外國からの旅行者に最も眼につき易いものである。この壯麗な尖塔式建造物はタイの寺院には必ず備はつてゐて、その聳え立つ尖端は既に遠いところから歩行者に聖所が其處にあることを教へてくれる。首都ベングコックにおいても、これらの細長い尖つた塔が數多く存することがわれわれの注意を牽く。

殊に古い王宮のあたりをメコン河から望んだ風景は華麗そのものである。古い首都であり、現今は崩壊したまゝになつてゐるアユチャには、終始大きな役割をつとめて來た壯大なプラチエディが數多くある。ヨーロッパ人の旅行記は、メンデス・ダ・ピント Mendez da Pinto のそ

完成しようとする努力がなされたのであつて、そこからよく均齊の取れた半球形の墓塚が作りあげられたのである。これらの墓塚が、殊にそれが時代的英雄、王侯、もしくは祭式において高い位置に即く人の安息所とされる場合に、特別な敬愛と熱心さをもつて造られ、美事な建築物にされるやうになつたのは、その後の不斷の發達がさうさせたのである。印度のストゥパはこのやうにして生じた。そして佛教がまたこの古くよりのストゥパを、その墓の下に佛陀の聖體が保藏されたことから、さうした丘の形をしたものとして受繼いだのである。佛陀への尊業が儀式にまで高められるに連れて、ストゥパへの崇敬も増していつた。ストゥパは周圍のものから一段高く聳え立つやうに、その下に三層の建物造られ、また更にそれに崇敬の意を表して階層狀の傘を冠せられた。それは最初は本物の傘だつたが、後には石で築かれるやうになつた。下層の建物と、鐘形と、傘は次第に組織的な一つのものとされていつた。そしてその簡単な建物に色々違つた型が現れるやうになつて、次第に發展してい

つた。佛陀の時代から遠ざかれば遠ざかるほど、彼の單純な教説と根元的な記念碑的な素材さが忘れ去られ、それに連れて熱心な教義學者は徒ら煩瑣な議論や詭辯を弄するやうになり、ストゥッパも最初の簡單で素材なものから漸次凝つた複雑なものに變つていつた。佛教が廣く流布するに連れてこの卒都婆も國外に進出したが、それらの土地の建築術の影響を受けて甚だしく變形を遂げることゝなつた。またその名稱も錫蘭島のダゴバ、西藏のチヨルテン、蒙古のスブルガン、タイのプラチェディといふ風に變つていつた。

この様にストゥッパは様々な形に變つていつたけれどもかの三つの要素、下層、鐘形、上構は、明瞭に保存されてゐるのであつて、それは殆んど佛教の三位一體の象徴とも言ふことができる。古い時代にはストゥッパは最も重要な、殆んど唯一の禮拜堂であつた。最初それは唯だ佛陀の聖遺物の上だけに築かれるものであつたが、彼には主だつた弟子の尊者や、佛教教團の僧侶などの佛舍利の上に、そして最後には、佛教を庇護し、或はそれに大き

な功績を樹てた王達の舍利の上にも築かれるやうになつた。佛陀の弟子たちは記念法會を催してストゥッパを尊崇した。その後彼らはさうしたストゥッパになるべく近いところに僧庵を結ぶやうになつたが、この結ぶつきが後の僧院や寺院の組織を産み出すことゝなつたのである。さうしたすべての施設においてストゥッパは最も崇敬を受ける位置に定められた。佛教が起つた初期の時代には禮拜の對象としての佛像などは用ひられなかつたのであつて、當時の寺院では、佛像の占むる場所にストゥッパのやうな建造物が置かれた、なほこれは印度の古い岩壁寺院においても見出されることである。タイにおけるプラチェディもやはりこのやうな高い位置を占めるやうにされ、大抵の場合境内の主軸に、そしてその中央に、巨大なプラチェディが建てられることになつてゐる、例へばブラバトムの記念寺院などにおいてこのことが明瞭にされる。元來比較的低いものであつたストゥッパ建築物も、タイの様式に化せられて、細長い、優雅な塔に變へられていつた。

プラチェディは、その敷地の取方とプラチェディの形状によつて、二つの種類に大別される。圓形の敷地にあるか、角のある敷地にあるかである。圓形の敷地にあるプラチェディは、印度のストゥッパをそのまま受けたものである。佛教の普及以前には、印度支那全域にわたつて

正方形の敷地の上に築かれるのを常とする婆羅門教の寺院が建てられてゐたが、その著しい特徴は、堅づくりの、どつしりした形の、オリッサの寺院塔に存した。タイにおいては、この寺院塔は次第に華麗に、次第に細長くされて、今日見るやうなブラブラングに發展していつた。これは男子生殖器を象徴的ならはしてゐる。タイ人はこれを今日でもシヴァリユング、即ちシヴァ神の男根と稱してゐる。正方形の敷地の上に、角のところに渦形持送の彫刻を施した建物は、タイ人の嗜好に甚だよく投ずるものであつて、彼らはその敷地の形と側面を圓形のプラチェディに移さうと努めた。その結果、プラチェディも角をもつ敷地の上に建てられるやうになつて、それがストゥッパと婆羅門教の塔との折衷によつて成つたも

のであることを示してゐる。プラチェディが佛陀の聖遺物保存の場所として建てられたものであることは先に述べたが、ブラブラングも矢張り同じ目的のために建てられたものであつて、今日では、この二種の建造物の間には何ら根本的な相違は存しない。

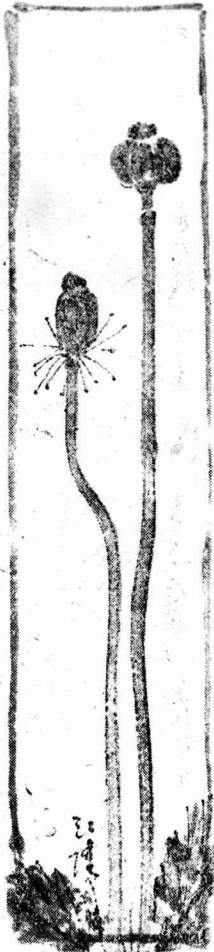
昔は、その遺物がプラチェディの中に安置されることは敬虔な佛教徒にのみと與へられる大きな榮譽であつたのであるが、今日ではすべての家庭が、それだけの費用をかけ得る限り、死せる近親者に同じ様な墓標を建てること許されるのであつて、従つて少し大きな火葬寺院の附近には、プラチェディ式の墓標が幾百となく竝んだ墓地を見出すのである。たゞ其處にはブラブラングの建物は比較的少數である。それは何故かと言へば、タイ人の考へによれば、ブラブラングは甚だ大規模のものであつてこそ始めて美しく見えるのであつて、別に法律によつて規定せられてゐるわけではないけれども、ブラブラングの形をした大きな塔を建てることは、王の一つの特權と考へられてゐるからである。之等の大きな寺院塔



のうちでも、最も傑出してゐるものはワット・チェンクの  
 壯大なブラブラングであつて、これは今日ではバンダ  
 コックの目標ともされてをり、タイの旅行記には例外な  
 く、その豪華華麗さが特に讚嘆の筆をもつて記されてあ  
 る。然しながら、タイ人がブラチエヂイを建てるのは單  
 に墓標としてだけでなく、記念碑としても、例へば死せ  
 る王や名譽ある勝利を記念するために、建てられるので  
 ある。またその他にも、例へば土地の境界標として、英  
 邁なる君主の誕生地の目標として、それが建てられてあ  
 る。更にバステイアン BASTIAN は、それがタイの海  
 岸地方で燈臺として使用せられてゐることを報告してゐ  
 るが、しかし私はこの報告を裏書するものは見出すこと  
 ができなかつた。時代の推移のうちにブラチエヂイは殆  
 んど佛教そのものゝ象徴の如きものとなつてゐるのであ  
 つて、そのタイにおいて占むる位置は、基督教界にお  
 ける十字架のそれと同一である。

コムノ生産と消費（一九四〇年）

生産		消費	
マレー	五四〇、四一七噸	米國	六一八、五九二噸
東印度	五三七、七三三	英國	一四六、七〇〇
セイロン	八八、九三七	カナダ	五二、五六七
佛印	六四、四三七		
タイ	四三、九四〇		
南米	一七、六〇一		
世界總計	一、三九二、六〇四	世界總計	一、〇五四、八五〇



泰國 戲曲 **セーン・ウィー姫物語**

駐日泰國大使 **ウィチット・ウィチットワタカーン** 作  
 本協會常務理事 **三島章** 道譯

序 曲

開幕（幕は舞臺の兩端はピロイドの幕でしほり、中央は圖案  
 化した泰國地圖（繪入り）を背景とする。輕やかな行進曲と  
 共に、上手花道よりユワナリ（女子青少年團）團員數名、列

をなして登場、同時に下手より、ユワナリ指導者一名登場。  
 舞臺中央にて團員止り、敬禮する。音樂止む。）

指導者 皆さん、朝からどちらへ？

團員一 先生の所に伺ふところです。長い御休みの後で  
 みんな真先に先生に御會ひしたかったので。

指導者 まア、そうでしたか、それは丁度良かった。此處で一休みしてお休みの間の御話を伺ひませう。

（一同嬉しそうに舞臺上手よりに腰を下す）

團員二 先生、私はロップリーの伯母の所へ行きましたの。（同時に背景の地圖中に有名な寺の繪が幻燈で浮び上る）

團員三 私はアエツチャーの母の所で過しました。（同様、アエツチャーの所に山田長政時代の城の跡現はれる）



團員四 私は父とホアヒンに行きました。とてもく樂

しかつたわ。ホアヒンの美しき離宮の繪浮び出る）  
指導者（團員一の方を向いて）ベンチャーさん、貴女は何處へ行らしたの。

團員一 私は遠い所へ、父がセーン・ウィーへ連れて行つて下さいました。（同様、前より大きく城跡の石段の繪出る）  
指導者 セーン・ウィーへ。（大きな聲で）

團員一 はい。（皆の方を向いて）皆さん御存じ？ 地方鐵道でラムバリングで下り、其處から自動車でチャーングライーに着いてサーイ河の處で國境を渡り、ギアウ地方にやつと着きましたの。

指導者 それはね、ギアウと呼ぶのではなく、タイヤイと云ふのが正確なですよ。タイヤイは私達と同じタイ族です。私達は小タイ、タイヤイは私達の兄さんですよ。皆さん解りましたか。

團員一同 はい。

團員一 それで私達はタイヤイに着いて、チャング・トウングに着きました。

指導者 チャング・トウングは古代歴史で何と呼ばれ

てみましたか。

（團員一同顔を見合はせる）

團員一 解りません。

指導者 チャング・トウングは古代史ではケマラトと呼ばれて居て、四五百年前から、今の名になつたのです。ベンチャーさん、貴女はチャング・トウングからセーン・ウィーに着いたのでせう？

團員一 はい。本當に遠い旅でした。おまけに着いてから御父様が古くさい物ばかり見物なさるので退屈でしたわ。凸凹の道を一日もかゝつてやつと着いたと思ふと、廢墟ばかりで嫌になつて終ひました。あんな物を面白がる人の氣が知れせんわ。

指導者 それが貴重なですよ。その崩れた物が數百年の出來事を物語つて居るのですからね。廢墟の所に石段のある小さい丘があつたでせう？

團員一 ありましたわ、殆んど崩れて居て、何だか譯が解りませんでしたけど、案内者が其處にはセーン・ウィー王女とケマラト王子の靈が今だに鎮まつて居ると

説明してくれたのでお詣りしましたけれど、先生、あれはどういふ御話なのでせう。

指導者 それはネ、その丘は昔セーン・ウィー王國の御庭だつたのです。そして傳説が生れたのです。

團員三 何だか面白さうね。

團員四 先生、早く先を御話して下さい。

團員一、二 どうぞ、先生、先生。

指導者 佛曆一七〇〇年頃、即ち今から七百年前にタイヤイ地方には、二つの國が繁榮して居ました。（舞臺段々暗くなり背景の地圖だけ明るくなる、石段の繪大きくなりオヴァーラップにて、廢墟の繪は次第にこわれて居ない美しい城の庭の石段の繪と代る。）（ロマンティックなる伴奏）それはセーン・ウィーとケマラト國でした。二つの國は仲が悪くて絶えず戦つて居ましたが、遂々ケマラト側で不利な戦を止めて、和睦したいものと考へ、ケマラト王は王子を親善使節として、セーン・ウィーへ遣はしました。そして、この物語りがいよゝ／＼始まるのです（音楽次第に高まり、暗轉）

## 序 幕

セーン・ウィー國、宮庭、朝見の間  
正面に一段と高き王座あり。

開幕。(セーン・ウィー王、宰相及び高官數人、チャイ・ビー(音楽の一種)この間に、セーン・ウィー王は王座の上に坐す。セーン・ウィー王王座にて簡單に坐りながらのシヤム式の踊りあり。次に宰相、膝行して王座の前に進む。以下も、王座の前にては、皆必らず膝行するものとす)



第 二 圖

**宰相** 陛下、麗はしき御尊顔を拜し、臣等恐悦至極に存じ奉ります。本日、奏上すべき重要な政務は、ケマ

子殿下は、既にチャイ・ング・ルング王女殿下と御婚約の由に洩れ承つて居ります。今回の我國御訪問は心からの親善に他ならぬ様に思はれます。

**セーン・ウィー王** ケマラト王子殿の他には、どのやうな要人が隨行せられるぢや。

**宰相** 御弟王子君と、妹姫様の御二方が御出でございませう。

**セーン・ウィー王** フム、左様ならば盛大に歓迎せねばなるまいな。しかし、予は、姫とブカーム王子の結婚の日を取極めに、明日、ブカームに發つ豫定だが、悪い時に來られたものぢやのう。先方も待つて居られるから、日延べをするわけにも行かぬし、歓迎會はどうあつても明日中に、催はさねばなるまい。

**宰相** ハハツ、陛下。只今、ケマラト王子様が謁見を待つて御出になりますが、先づ公式の謁見を、賜はりましては？

**セーン・ウィー王** よからう。外務大臣、使節をこちらへ御通し申せ。

ラト國より使節を遣はされ、我國と親交を結びに參られた事にござります。

**セーン・ウィー王** それは耳よりの事ぢや。ケマラト國と我國とは、今迄争ひ事が絶えまなかつた。國境にては慘事が繰りかへされた。これは予の好まざる所であつた。然るに、先方より親善使節を寄越さるゝとは、渡りに舟とはこの事を申すもの。争ひ事もこれにて全部解決をいたさう。

**宰相** 特に今回の使節は、普通の使節にてはござりませぬ。特派使節の由に御座ります。

**セーン・ウィー王** さようか。して、誰を寄越されたのかの？

**宰相** 今回のケマラト國使節は、特にケマラト王子殿下が、主席として御出でござります。

**セーン・ウィー王** 左様か、これは異なる事ぢや。よもや姫を所望に參らるゝのではあるまいな。姫とブカーム王子との間の婚約を知らずに來られるのであるまいか。  
**宰相** それは御心配御無用かと存じます。ケマラト王

(外務大臣、一體して入る。直ちに小姓二人ラッパ、太鼓にて王子の出場を告げる、華やかな音楽と共に、外務大臣先に立つて、案内し、王子、侍従を従へ出場す)

**セーン・ウィー王** セーン・ウィー王は、ケマラト王子殿下御來國を衷心より光榮と存じ、且又、ケマラト國の友好を感謝します。使節御一行の御旅行は如何でござつたな。

**ケマラト王子** 私共一行、御蔭にて、平穩な旅を致しました。數々の御心使ひ、身に餘る幸せに存じます。

**セーン・ウィー王** ケマラト國王陛下には、御壯健にわたらせられますか。

**ケマラト王子** 有難う存じます。至極壯健にござります。陛下に宜敷しくとの事でございます。

**セーン・ウィー王** 本年も、御國は豊作でありませうな。

**ケマラト王子** はい。雨も季節通りに降つて居ります。

(王子、客席に向ひ少し前方に出る。同時に音楽おこる。)

王子唄ふ。

歌

白き鳩の翼に乗りて  
訪れしとつくには  
我幾度か夢に見し國  
美はしの國よ

青き空の下に、瑠璃も眩ゆき御殿  
煌めく星の下に、艶やけき黒髪  
照り映ゆる太陽の下に、黄金なす稻穂  
君が高き御ひかりに  
我等疲れし旅人も  
心まこと安けし

美はしのセーン・ウィー

我唯その光に、心捉はれ  
とこしへにこそ固き契を  
君に捧げまつらなん

(セーン・ウィー王、満足げにうなづく)

ケマラト王子 弟も妹も貴國の御歡待を感謝申上げて居  
ります。

う。(王子に近づき其の肩に手を置く)

(音楽と共に、全員チャイヨー・セーン・ウィー、チャイ  
ヨー・ケマラト、と叫ぶ)

幕

## 第二幕

開幕。紅いピロイドの幕を背景、輕音楽(セーン・ウィー  
の宰相、官吏、出て来る)

宰相 どうだ、準備はもう良いかな。

官吏 萬事滞りなく。

宰相 どんな催物だね。

官吏 最初に御妹様様の催物で花踊りがあります。御妹  
様と花踊りの舞姫達が歌を唄ったり花踊りをするの  
です。

宰相 御妹様様は何をなさるのかな。

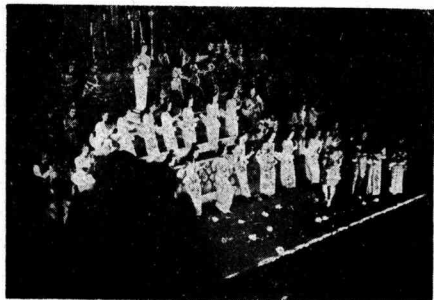
官吏 セーン・ウィーの歌をお唄ひ、御踊りになります。

セーン・ウィーの歌は新作で、御妹様様の今度特に御  
作りになつたものです。

宰相 それ丈か。

四〇

第三圖



セーン・ウィー王

予も又、王子殿  
下の御心根を満  
足に思ひます  
るぞ。二人の姫  
も喜ぶで御座ら  
う。明日、歡迎  
會を催す豫定ぢ  
やが、予は明後  
日、ブーカムに  
發たねばなら  
ぬ。予が留守で  
も、如何やうに

も御自由に御滞在下されたい。姉の姫がその間、政務を  
とるであらうからな。宰相、手ぬかりなく準備せよ。

(立上りながらしづくと王座より下り乍ら) これより

先、我々二國は固い友の契を結び、益々美はしくも、  
強い國とするやう互に勵むを、御佛に御祈り申上げや

官吏 はつ。

宰相 餘り少い事は無いかな。陛下は盛大にせよと仰せ  
られたのだが。

官吏 二種丈でも盛大だと思ひます。セーン・ウィーの  
御姫様が御二方も、自ら御歌ひ、御踊りなされるので  
すから立派な歡迎會ではないでせうか。

(音楽高まりピロイドの幕開く。前の石段と同じ。美しい  
花の咲き亂れた庭園の場。)

(ケマラト弟王子、王女、及びケマラト官吏二人上手より  
出る。宰相と官吏は坐して合掌する。)

弟王子 私はケマラト王子の弟であります。これが妹で  
す。兄上は未だ着換へが済まれないので、遅くなつて  
はいけないと思はれ、私共二人、先に纏り出るやう命  
ぜられました。もう間もなく参ると思ひます。

ケマラト姫 本當にセーン・ウィー國は素晴らしい所でご  
ざいますわ。もう歸りたくなくなつて了ひさうでござ  
います。

宰相 此の度ケマラト王子、王女三殿下の御來訪を賜は

四一

つた事はセーン・ウィーの最も光榮とする所でございます。  
ます。

弟王子 兄上も貴國を好きになられた様です。私共も皆御國を好きになりました。

宰相 先日殿下にお供された方はどなたでございますか  
弟王子 あれは私共の侍従です。

ケマラト王女 あら、御兄様が御見えになりましたわ。

(ケマラト王子出場)

ケマラト王子 遅れまして恐縮です。弟達を先によこしたのですが。

宰相 御遅くはございません。セーン・ウィー王様はまだ出御ありませんから、もう間もなくの事と存じます。

(姫の侍従出て来る)

侍従 私はセーン・ウィー姫様の侍従でございます。御姫様はまだ御用事が御ありになりますので直ぐに御出迎へ致し兼ねますが、間もなく御出になるからと、御傳言するやうにとの事でございます。

ケマラト王子

有難う、どうぞ姫君によるしくおとりなして。後日御拜謁賜はりたいと御傳へ下さい。

(侍従去る。ガメラン音楽はクロリング・トリング伴奏をする。セーン・ウィー王重臣を従へて出場。一同坐し禮拜する。)

輕音楽、見給へ花を、を演奏。妹姫と花踊りの舞姫出て来て舞ふ。

弟王子 (侍従に) この方がセーン・ウィー姫様ですか？

侍従 いや、妹姫様でいらせられます。

(妹姫舞を舞ひながら唄ふ)

歌 見給へ花を、君よ

高き香りもて

柔かき匂ひもて

心癒す薔薇

朝露に開き初めし

匂ひ初めしこの花は

唯一人我が物

見給へ君よ

いとあやし戀の花を

心なき風に散り

又、過ぎ行く、時、て散る戀の花を

とく摘めよ、君よ

はかなき花なればこそ。

(姫達の舞が済むとガメラン音楽セーン・ウィーの歌を奏する、姉姫とセーン・ウィー踊りの舞姫出る)

我等セーン・ウィー國民は

麗はしの國ケマラトの

輝やける王子迎へまつり

喜びに胸躍らす

貧しけれど、心の總でもて

黄金豊けき御國より

草深き賤が舍へと

來られし君を

我等迎へん

我等セーン・ウィー國民は  
麗はしの王子迎へまつる

たとへ君心樂しませず  
故郷想ふ日ありとても  
許したまはずや  
我等いと貧しき者なれば  
君よ、樂しく健やかに  
我が賤が舍に憩ひ給へ

我等セーン・ウィー國民は

氣高き王子を迎へまつる

かなはれぬ望みもなく

いよ、凛々しく美はしく

有りとあらゆる國々が

君の御名を口ずさみ

君の光に打伏すを

我等ひたすら祈るなり

(ケマラト王子、嬉ばしきうに、姫を見る)

セーン・ウィー姫 ケマラト王子殿下には、我等に御披露下さる、御土産はないのですか。



ケマラト王子 ケマラトでは、今、長鼓が流行して居ります。これはセーン・ウィーから傳はつたもののでござ

います。只今御覽に入れませう。

セーン・ウィー姫 それは、是非どうぞ。

ケマラト王子(弟王子に) 御前の長鼓隊を呼んで御覽に入れなさい。

(ガメラン音楽、ケマラトの歌を演奏)

(ケマラト弟王子長鼓隊と共に現はる)

我等ケマラト人

森を貫き訪れ来しは。

それはセーン・ウィー國ぞ

美はしくも榮ゆるは。

旅人等疲れ忘れぬ

まこと豊けき國なれば。

我等ケマラト人

よぐぞ故郷離れ来し。

セーン・ウィー人よ

御身等の國こそ  
花も人も美はしき

永遠に榮ゆる御國なり

我等ケマラト人

故郷を後にせしは。

至らなき我等なれば

悪しき事も許し給へ。

年は過ぎ日は行きて

髪に霜をくとも

我等とはに忘れじ美はしの國を。

一同 やんや。やんや。

セーン・ウィー王 宰相よ。他に何か面白い物を御覽に入れたらどうぢや。

宰相 古へよりの習慣にて、高貴な國賓の御來訪がありました時、主人側が、武藝に御誘ひ申上げるのでございませうが、如何なものでございませう。ケマラト姫様を御誘ひ申上げて、お妹姫様と、劍道の御仕合をな

されましては。セーン・ウィー國民も、大變それを希望申上げて居ります。

セーン・ウィー王 ウム。如何ですか。ケマラト姫君

子の末の姫と劍道の仕合をなさいませんか。

ケマラト姫 どうぞ陛下の御氣に召すまゝに。

セーン・ウィー王 では、拜見させて頂きませう。

(註。泰國にては劍道に音楽がつきものである。劍をとつて、美しいメロディーに合はせて、色々の型を示して、戦はず。實に美しい、一種の劍の舞の如き、しかも劍道の型なのである。)

(ガメラン音楽はマーン・クロング・トゥーンク歌曲を奏す。セーン・ウィー姫は、妹姫を呼び寄せ、何か教へる。ケマトラ王子も妹姫に教へるが、左程注意を與へない。セーン・ウィー姫は身振、手振で、一心に教へる。ケマラト王子それを横眼で見ると、セーン・ウィー姫氣が付いて恥ぢる。セーン・ウィー妹姫は持つて来て、ケマラト姫に渡すガメラン音楽の劍道音楽次第に高まる。試合始まる。セーン・ウィー妹姫は、ずつとケマトラ姫より劣つて居る、負けさうになると、セーン・ウィー姫は横から手を振つたりして妹姫に教へる。又叫んだりして終ふ。しかし直ぐに我に返つて、恥かしがる。仕合の結果、セーン・ウィー

妹姫の負けになる。妹姫はブリ／＼怒りながら階段を下りる。音楽止む。)

セーン・ウィー姫 殿下、妹が負けたのは、セーン・ウィーが負けたものではございませぬ。妹の次に私がお相手

手を致したうございませぬ。

セーン・ウィー王 おや、今日初めて御合ひしたのに、もう喧嘩かな。

セーン・ウィー姫 さうではございませぬ。一組の仕合

のみでは、實際の勝負は解りませぬ。少くともいま一本の勝負をしなければ。(ケマラト王子に) 殿下、私に機會を御與へ下さいませ。

ケマラト王子 私は異存御座居ませぬ。(ケマトラ姫に) では、もう一度姉姫君と仕合させて頂いたら。

セーン・ウィー姫 ア、それはいけませぬ。妹同志が仕合したのですから、今度は、姉が御兄様に御相手を

するべきだと、存じます。私は他の方でなく、殿下御

自身に御相手頂きたう存じます。

ケマラト王子 姫君、今日のところは御許し下さい。い



づれ後日に御願ひ申上げます。(セーン・ウィー王に) 本日は、盛大なる歓迎會を私共の爲に催して下さいまして誠に有難う存じました。時間も大分遅いやうでございますから、陛下、退出させて頂けませうか。

セーン・ウィー王 御隨意に。予は明朝早くブカムに出發致すが、御滞在下されたい。親類と思つて、御遠慮なされず、御氣樂になされる様に、予が留守でも、姉姫が政務をとり、且つ御歡待申上げませう。

(音楽はカセー歌曲を奏する。ケマラト王子一行禮をして去る。姉姫同志は親しく挨拶するが、姉姫はまだ怒つて居て、王子が暇乞をした時も、仕方なしにする、王子が去ると、音楽止む。)

セーン・ウィー王 (姉姫に) 姫、國賓にあの様な失禮をしてはならぬ。

セーン・ウィー姫 でも、あれしきの仕合で、ケマラトに負けたりして、腹が立ちましたの。

セーン・ウィー王 負けても良いではないか。先方は國賓ではあるし、花をもたせるといふ事もあるものだ。

ト弟王子、妹姫と親しく挨拶を交し、談笑しながら、城内に入つてしまふ、姉姫と兄王子のみ残る。音楽止む。

ケマラト王子 先日は御氣にさはつた事を申上げて、失禮致しました。

セーン・ウィー姫 私こそ。あの日は本當に御恥かしい事を致しました。父も私の癪癪持には困つて居りましたわ。

ケマラト王子 もう御怒りになつてはいらつしやいませんね。

セーン・ウィー姫 え、もうそんな怒つてなど。でもまだ御相手させて頂く方は諦めては居りませんわ。

ケマラト王子 では未だ私が御相手するのを御望みでいらつしやるのですか。

セーン・ウィー姫 御相手を御願ひしたら存じます。

ケマラト王子 その様に仰云るのなら、今でも結構でございます。

セーン・ウィー姫 いゝえ、人が見て居る時がよいと存じます。又宴會の時にでも御願ひ致します。

明日から予が居らぬから、御前が手ぬかりなく、國賓を接待しなさい。若し何か嫌な事でも起つたら、この父が承知せぬぞよ。よいか、よくの注意が肝盡ちや。

(ガメラン音楽はパーマクラインク歌曲を奏する。セーン・ウィー王、諸臣を引連れて去る、姫二人残る。音楽低くなる。)

セーン・ウィー姫 なんですか、たつたあれくらひの仕合で負けるなんて、何といふ事ぞせう。今度から、毎日練習しなくてはいけません。御怠けしたら、私が承知しませんよ。

(妹姫唇をかむ、ガメラン音楽高まる。)

幕

### 第三幕

第二幕と同じ庭園

ガメラン音楽はダーオクラチャイ歌曲を奏する。セーン・ウィー姫、妹姫に剣道を教へて居る。ケマラト王子弟と妹姫を連れて、突然現はれる。姉妹姫剣道を止め、妹姫はマラ

ケマラト王子 でも、今日、少し御手並を拜見させて頂けませんか。

セーン・ウィー姫 (躊躇つて居るが) では、どうぞ御手柔に。

(ガメラン音楽はパーラム、ムアライ歌曲を奏する。剣道が始まる。ケマラト王子と姫とは腕前の段が違つて居る。ケマラト王子は、わざと姫に切り込ませ、姫が剣を振上げ切り込んで来ると、王子は姫に近寄らせて、姫を抱く。切る代りに、抱かれて終ふので、姫は吃驚して、怒つて離れ、怒つてかゝつて行くと、王子は軽くあしらつて、再び前の如く姫は何時の間にか抱かれて終ふ。姫は又怒つて離れる又くり返す。音楽は高潮に達し、美しいメロディーとなり三度目に抱かれた時、姫は少しポツとなり、ふらふらして、美しいメロディーに酔ふ様になる。音楽止む、姫は我に返つて、恥かしさうに、しかし殊更にキツとなつて)

セーン・ウィー姫 眞剣になつて、本當の剣道を御願ひしたうございます。こんなのはもう止めませう。

ケマラト王子 (笑ひながら) これがケマラト剣道です。

ケマラトでは、何時もこんな風に切合ひます。

セーン・ウィー姫 そうでございますか、こんな剣道を

ケマラトに居らつしやる間に、御上達遊ばしたのでございませう。どうぞこんなものは、ケマラトへ御歸りになつてから遊ばして下さい。セーン・ウィーでは流りませぬ。

ケマラト王子 私は本統はケマラトに歸りたくありません。又何時歸るかも未定です。

セーン・ウィー姫 解りましたわ、セーン・ウィーを出たら、ケマラトへ御歸りにならずに、チャーン・ルングへ寄られるのでせう。そして其處の美しい御姫様に、こんな劍道を御教へ遊ばすのでございませう。

ケマラト王子 それは御考へ違ひです。私はチャーンルングに行く事は全く考へて居りません。私はセーンウィーを發つて、プカームを攻め(熱情的に)プカーム人を一人残らず殺して、セーン・ウィーへ歸り、一生を此の國に捧げたいのです。(意味ありげに姫の顔を見る)  
(輕音樂) 速くより見る“の歌を演奏する。姫は王子より離れて坐る。王子近寄る。)

ケマラト王 私は今日に至るまで、速くから姫君を拜請

した事だけしかありませんでした。けれど、私は朝でも夜でも姫の御姿を遠くから眺めて居ります。姫君よ、どうぞ近くでその美しい御姿を拜見出来る時を與へて下さいませんか(王子歌ふ)

歌 朝露にぬれ

太陽の光あび  
星の下彷徨ひ  
幻のごと遠方に見る  
されど弱き我心は  
夢にのみ近く君を見る  
ちらと君と見し時の  
高なる胸の喜び  
美はしの姿見えぬ日の  
この胸の痛みよ

朝露にぬれ

太陽の光あび  
星の下彷徨ひ

ケマラト王子

大變結構です。何一つ不足は御座居ません。私の居ります所は、丘の上であり、西の方には、高くて美しい山が見えますし、夜には月が、青い光を投げかけてくれます。私は姫君を、夜、私の所に御誘ひしたいと存じて居ります。

セーン・ウィー姫

何か不行届の所があつてはと、そればかり氣にして居りましたので、私が見廻りに參らうかと存じて居りましたが、でも殿下が御満足でいらつしやるのなら、もう伺ふ必要もございませんのね。

ケマラト王子(あわてし)

いゝえ、どうぞ御出になつて下さい。實は不足の所がございますから。

セーン・ウィー姫

まア、今御不満が御ありにならないと仰云いましたのに。

ケマラト王子

いや、不自由だらけです。家の内は無整理だし、日用品も揃つて居ないし、蚊帳もなく毎晩蚊で大困りして居ますし。

セーン・ウィー姫

セーン・ウィーの悪口ばかり仰云つて。御不満が御有でしたら、直ぐ行き届くやうに致さ

幻のごと遠方に見る

されどつれなき君なれば

唯夢に見る花の姿

心なき風のまに

飛びかふ小鳥のごと

あはれ秘めし

この心の悲しみよ

(一、二と同じくり返し)

冷たき君よ知るや

希望なき望に曇る心を

珍らしき寶物のごと

はるか遠くより

何時叶ふもしれぬ

この熱き望みよ

(姫はその間心を動かされた様子であるが、歌が終ると、さあらぬ態度で話題を變へる)

セーン・ウィー姫 宿所の準備は如何でございませうか。

せませう。

ケマラト王子 姫君が御自分で御出にならなければ、何が悪いかは御解りになりますまい。

セーン・ウィー姫 でも、私が命じて、準備させてから見に行くことに致しませう。

ケマラト王子 (とうにかして姫を来させやうとして) 本當は皆備はつて居るのですけれど、どうしても姫君に見に来て頂かなければ。

セーン・ウィー姫 殿下、一體どつちなのでございませう

ケマラト王子 行届いて居ると云へば言へるし、居ないと云へば言へるし、どちらにしろ、一度御自身で御見廻りになるよう、御褒め致します。

(輕音楽、カテューレク歌曲を奏する。二人の姫、城内より出て来る)

ケマラト王子 姫君、御邪魔を致しました。そろ／＼御暇致します。私の宿所に御出下さる日を御待して居ります。

(王子と妹姫去る)

セーン・ウィー妹姫 御姉様はケマラト王子様と劍道の仕合をなさつたの。

セーン・ウィー姫 ええ。

妹姫 そして御勝ちになつて?

セーン・ウィー姫 さあ。(誤魔化す)

妹姫 どちらですの。

セーン・ウィー姫 (怒つた様に) どちらでもよいでせう、妹姫 でも。

セーン・ウィー姫 貴女は何が知りたいの。

妹姫 御姉様が仕合の時、どんな氣持がなさつたか知りたいのですわ。

セーン・ウィー姫 はつきり云へませんわ、そんなこと

妹姫 どうして?

セーン・ウィー姫 どうしてつて、随分うるさいのね。

妹姫 (かまはずに) 男の方の劍道の御相手をするのつてとても變な氣持がするものですね。

セーン・ウィー姫 (ハツとして) 貴女、誰となさつたの?

妹姫 さつき、ケマラト弟王子様と。

セーン・ウィー姫 まあ、何處で?

妹姫 城内でしましたの。

セーン・ウィー姫 そして?

妹姫 (困つて) まあ。

セーン・ウィー姫 (ぢれつたさうに) そしてどうなの?

妹姫 私が劍を振上げて切り込まうとすると王子様が近寄つて、切り込む代りに、何時も抱かれてしまふのですもの。

セーン・ウィー姫 それで?

妹姫 云へませんわ、私。

(音楽高まる。妹姫じつと下を向いて考へて居るが、つと顔を上げる、興奮して居る。いきなり妹を抱きしめて)

セーン・ウィー姫 何か、何か間違が起らなければよいけれど、御父様の御留守の間に。王子様はもう永い事御出になるけれど、もつと／＼御滞在なさるやうならきつと、ええ、きつと、何か困つた事が起るに違ひな

わ。  
妹姫 それなら歸つて頂いたらどうなの、御姉様。

セーン・ウィー姫 (悲しそうに) でも、私は歸つて頂き

たくないの。(低くつぶやく様に) 變な……變な氣持……

(妹姫、今度は妹姫を慰めるやうに抱く)

幕 (未完)

寫眞説明

第一圖 昨年廣田特派大使一行訪泰の際、バリンゴックの

シルバコン國立劇場で催された歓迎懇劇會上上演された

本戯曲の主役達(國立舞踊學校生徒)と廣田、矢田部兩

大使。寫眞右よりセーン・ウィー王、廣田大使、セーン

ウィー姫、矢田部大使、ケマラト王子。

第二圖 同上、序幕、セーン・ウィー王の踊り

第三圖 同上、第二幕、セーン・ウィー姫の花踊り

泰國事情

(各項括弧内B・Cとあるはパ  
ンコロク・クロニクルの略)

佛曆二四八六年度泰國  
豫算細目

一、一般歳入合計	一四八、八三七、九六一
(一) 内閣秘書官宅	二〇四、五五〇
(二) 國防省	一、六五七、八〇九
(三) 大藏省	九一、七六二、七九〇
(四) 外務省	二〇、五五〇
(五) 厚生省	二九八、二一四
(六) 産業省	七、七八六、五七六
(七) 農林省	四、九七三、三三七
(八) 交通省	二八、六〇五、六三四
(九) 商務省	二五五、五八八
(十) 内務省	一〇、二二一、三三七
(十一) 司法省	二、〇三〇、三〇〇
(十二) 文部省	一、〇二二、〇九〇
二、一般歳出合計	一四八、七九七、七六九
(一) 王室費	四一四、二〇〇
(二) 負債償還費	二〇一七、八六六
(三) 繼續費	九六〇七、五八五
(四) 營繕費	一〇七、二〇〇
(五) 豫備費	六七五、〇〇〇
(六) 内閣秘書官宅	二二五八、一六四
(七) 國防省	四〇、三七七、二二五
(八) 大藏省	一〇、三八三、三二六
(九) 外務省	一、九七二、二九二
(十) 厚生省	四、四一一、七一九
(十一) 産業省	九八九、七五二
(十二) 農林省	六、九五七、六〇四
(十三) 交通省	一九、五〇九、六六九
(十四) 商務省	七三七、六八七
(十五) 内務省	二七、一九五、九一八
(十六) 司法省	二、二七四、四一六

(十七) 文部省	一六、六二五、七九七
(十八) 宮内院	九四、二八一
(十九) 内大臣宅	七六、九八二
(二十) 議會	七四七、二八五
三、特別歳出合計	二九、七五七、五九三
(一) 國防費	五、六七一、八三九
(二) 石油管理費	七四、三六〇
(三) 石油統制費	五、二〇〇
(四) 種畜農場費	一〇〇、〇〇〇
(五) 外債及利息	六、五五二、五四四
(六) タイ銀行株式	二〇、〇〇〇、〇〇〇
(七) タイ林業株式	五、〇〇〇、〇〇〇
(八) タイ鑛業及ゴム株式	二、五〇〇、〇〇〇
(九) 屠殺場及精肉販賣費	九六九、〇六八
(十) プラカノング郡土地買上費	一八〇、〇〇〇
(十一) タイ紡績株式	八五、四八二
(十二) 織物業助成金	八〇、〇〇〇
(十三) 紡績業助成金	二二八、八九〇
(十四) 棉作助成金	八七、二二〇
(十五) 農事助成金	二五二、三三〇
(十六) (十七) 漕漕事業費	二、八〇四、五〇〇
(十八) 産業組合運動費	五八、五四八

(十九) 觀光事業費	一六、五〇〇
(二十) 運輸擴張費	二、一一二、六四九
(二十一) 民間飛行場建設費	二三〇、〇〇〇
(二十二) 郵便電信費	四五一、〇〇三
(二十三) 國道建設豫備費	六、五一八、〇〇〇
(二十四) 國道建設費	二、二八一、九一〇
(二十五) 鐵道費	一、九七二、六六〇
(二十六) 地方助成金	八五、三〇〇
(二十七) ドンバル州道路建設	一五、〇〇〇
(二十八) 發電所費	三七、八〇〇
(二十九) 實業教育助成金	一〇七、〇〇〇
(三十) 水害助成金	一〇、二五〇、〇〇〇

タイ・ドーム官吏任命

タイ國軍最高指揮官の命令によつて新領土タイ・ドームに於ける各部門に所屬する五十四名の郡次長及び下級官吏の任命が公表された(七・二、B・C)

非常時信用統制令 (詳報)

非常時金融機關統制令は七月一日大藏省より發布されたが、



### 看守養成所の開設

刑務局は當局最大の効果を擧げんものと、囚人を善良なる人間に轉向せしむる目的のために特殊學校を開設した。

所謂教誡學校(看守養成所)の開校式が革命記念日に内務大臣によつて行はれた。第一期の收容人員は三十名にして、志願者は申込と同時に中等學校證明書を提出すれば許可され、二年間の課程を受ける。卒業後定収入をもつて看守助手に任命され業績に應じて昇給する。好成績をおさめた者は二年後に三等看守に昇格する。(七・八、B・C)

### 國民文化院の警察隊

最近行はれた國民文化院宗教部の委員會に於て國民文化院附の警察隊を編成する事に決定した。(七・一二、B・C)

### 農業獎勵諸施策

國內の肥沃な土地から効果的に收穫をおさめる様にとの政府の獎勵によつて、北東部地方の住民は熱心に地方農業の充實をはかるために種々の方法に苦心してゐる。  
農務局長ナイ・チュアング・カセツト・ロッカヤ氏は當

同令によれば、銀行は特に當局の許可なき限り、個人に對する貸付、當座貸越、或ひは政府證券以外の引受に對する投資を禁ぜられてゐる。然しこれらの諸規則は、過去三ヶ月の總平均預金額の四〇%以上を政府證券にて保有する銀行には適用されない。  
保險會社は過去三ヶ月間のタイ國に於ける貸付及びその他の投資の總平均額の四五%以上、或ひは政府證券投資額によつて昨年中に受取つた利子の七五%以上を政府證券に投資せねばならぬ。  
總ての預金會社は過去三ヶ月間の預金總額の二五%以上に當る政府證券を三ヶ月毎に購入せねばならぬ。この購入證券は、極めて必要にして先づ當局の許可を得たる場合を除くのほか、賣却或ひは移動をなし得ない。預金會社はまた當局の許可なくしては得意先ならざる個人に貸付をなす事は許されない。かゝる許可のあつた毎に、規定額を超える貸付額以上の政府證券を更に購入せねばならぬ。

銀行業の性質を有する事業を營み、事務所、代理店、或ひは經營者を有し、正規の帳簿を有する個人或ひは團體は金融團體と見做され、かゝるものは上述の金融統制令に從はねばならぬ。但し過去三ヶ月間の總收入平均額の四〇%以上を政府證券で保有してゐない金融團體は除外せられる。また王室財産事務もこの規定より除外せられる。(七・三、B・C)

局者と共に七月八日より十日迄、コーンケン縣の主要なる三地方に於ける農業活動調査に多忙を極めた。一行は調査旅行中、縣委員及び地方官吏の隨行を得て、養蠶、木綿、麻の栽培、機械の新方法等を視察した。局長は農業活動の一つとして小規模の家畜養殖を指摘した。住民はこれ等の産業に對して熱意を示してゐる。

局長は調査を機として菜園用蔬菜種及び農業に關する印刷物を配布した。同氏は七月十日ブリラム縣ブライソングに出發した。(七・一四、B・C)

### 國立銀行の新事業

國庫局の一部事務をタイ國國立銀行に引渡す旨の勅令が七月十三日附官報に發表された。法令は官報發表と同時に効力を生ずる。

この法令の規定により、大藏省當座勘定拂込を擔當する國庫局中央國庫課現金受入係、現金支拂係、管理係と共に佛曆二四八五年國立銀行法第三十條によつて銀行事業に必要な二四八六年度豫算見積りに計上された支出額が國立銀行に引渡される。

銀行法第三十條によれば、タイ國々立銀行は大藏省會計に拂込まれる金額を預る外、貸越高を超過せぬ範圍に於て大藏省が手數料を拂ふことなく、或は同省で無利子で信用貸を行ひ種々の支拂を取扱ふものである。

主計局及び國庫局の一部活動のために割當られた豫算額は國立銀行に引渡される。

大藏大臣は法令實施を委任され、引渡は大臣の指令を得た上行はれる。(七・一四、B・C)

### 全警察署に成人學校

今年中に全文盲が讀み書きの出来る様にとの政府の方針を助長するため、警察署はこの點に救ひの手を延べた。その結果、タイ・ドームを包含するタイ國の全警察署は各警察に成人教育學校を設立し、警察官吏が交代で各日の教授を行ふ。讀み書きの出来る者はこれ等の學校の一つに記録される。(七・一九、B・C)

### ナコーン・シータマラー

#### トの母の日

七月十六日、ナコーン・シータマラート縣に行れた母の日の祭は早朝より非常な入出を見、食物、花等の出店もあり賑々しく盛大を極めた。

七時頃、全佛教徒は僧侶二百名に食物を捧げ、八時國旗掲揚後、厚生大臣チャウエンサク・ソングクラーイム陸軍大佐の開會の辭と共に陸軍第六部隊の調べにつれて進行した。祭に参加し

た者は茶菓を供され、朝の休息には種々の競技が行はれ、學童、教師、女學生等の普通體操が朝の番組に見られた。

陸軍第五部隊の普通體操、火輪投げ、火桶投げも行はれ、特に人氣を集めた催物は象と人間の綱現であつた。

午後二時より午後の番組に入り、副團長の辭をもつて開始、舞台は母性健康競争が中心となり、ビブ首相及び夫人の祝辭朗讀があつた。午後の催物は美術局の提供にして、陸軍第六部隊の樂隊をもつて公衆をもてなした。

タイ拳闘及び柔道の公開もあり、閉會に際しては母性健康競争の優勝者に賞金を呈し、午後の番組は六時に終了した。

次いで夜間祝祭に入り夜遅くまで行はれた。ナコーン・シータマラットからの電信によれば八百パーツの賞金及び百パーツの銀杯を贈られた誇りある優勝者は三十二歳の八兒の母である。(C・10, B・C)

### ユワチヨン大行進

先週、ユワチヨンの會員たる資格を有する學生の入團式がアラメン廣場に於て嚴かに舉行された。式はユワチヨン團長バモン・モントリー陸軍少將司會の下に行はれ、全團員の大行進によつて終了した。(七・二一, B・C)

### 史蹟、寺院の目録作成

美術局ではプラ・ナコーン・シー・アユッタヤヤー縣に於ける二十二寺院及び重要史蹟の目録を左の通り作成した。

タムボン・フワアローのサムウィハーイン寺院  
タムボン・タワースクリーのラーマ三世時代に建立された水準標柱及びプララーム沼と遺跡、チユムセーリンク寺院、チーケン橋

タムボン・ホーラットタナチャイのクロンク・ナイカイ附近の僧院

タムボン・プラトウーチャイのチャオプラップ、ウボソツトチエディーヤイ、チャオアラーム、サンク・カター、サンク・チェー、ワンク・チャイ、マハーサマーン等の諸寺院

タムボン・クロンク・サー・プワアのタークライ、チャラーム、チヨング・クロム、プラヤー・メエーン、チャオヤヤー・カーオ寺院  
タムボン・ハントラーのアユッタヤヤー寺院  
タムボン・カマンクのチャング寺院

以上は總べてクルンク・カオ縣(アユッタヤヤー)にある。(七・二一, B・C)

### 米穀賣上競争

先頃有名なサーマツキータイによつて組織された米取引競争の参加者は二百八十五名であつた。委員會は一等二千パーツ、

二等千パーツ、三等五百パーツ、四等二百五十パーツの賞金授與方を任命された。

委員會の決議により一三五名の入賞資格者を見たが一名の取消あり、一三四名が入賞候補者として残された。

委員會顧問マイサワン・ソムパットシ閣下は入賞店の選抜を依託された結果、内國通商局から審査役人が入賞候補の小賣商調査に送られ、その結果最後の競争者として次の入店が選ばれた。即ち、ナンクサーウサーダアインプラデイトシン氏所有のサーグアーン・ワッタナー、ナインク・ウサー・ハッターナン所有のペモーン、ナインク・サワイチヨーム・チャラオ氏に屬するシーワイアインク、ウイセート・ダーラーヨーン氏に屬するスクダラー・パーニット、ピアーン・フタチト氏に屬するサンパハン、ヨングラームロンナロング氏に屬する第二ワコーン・ブラング・ラッタナカーブ氏に屬するビー・ラッタナカーブ、クンジンク・スニーサーイ・ブンナーク氏に屬するシツパン等である。

これにより委員會は最後の決定を審議するため、六月二十三日會合を行ひ、サーマツキータイ賞金授與者としてシツパン商店、第二ワコーン商店、スクダラーパーニットの三店に満場一致で決定を見た。

シツパン商店は一ヶ月平均一〇六の顧客を有し、米賣上數量は六、五四六疋である。顧客八五の書狀は同店がサーマツキ

ータイの取引規則を嚴守してゐる事を實證した。

第二ワコーンは約二百の顧客を有し、一ヶ月平均四七にして賣上數量約七、六一九疋である。サーマツキータイ取引規則を嚴守してゐる旨の攝政會議々長秘書の書面及び多數の重要人物の書狀が寄せられた。

スクダラーパーニット商店は一ヶ月約三二の顧客を有し、賣上數量は約八、七一六疋である。同店主は簿記に堪能であるばかりでなく商賣に對しても非常に熱心である。サーマツキータイ取引規則に従つて營業してゐるといふ證言が二、三の高官及び知名士の書狀をもつて寄せられた。

委員會は慎重評議の結果、以上の三店がサーマツキータイ賞金を受ける者と決定した。然し、義務遂行の方法が完全なもので無きたため一等當選者はなく、功勞賞として各店千パーツ宛授與される事に決定を見た。(七・二一, B・C)

### 女子部隊の豫備將校名簿

七月二十三日宣傳局長は女子部隊の制度に關し、二年後には豫備將校名簿に記録され、官廳勤務と同等の特權を附與される旨を述べた。次長の發表によれば、特權の一つは既に政府官吏である女子部隊は缺員に對して優先權を有し、昇級も早いとの事である。昇級が試験に據る場合、女子部隊は得點に四パー

セントを加算される。既にこの提案は裁可されたものである。(七・三三、B・C)

## 税金、獻金に手形使用

大蔵省は近く各種税金及び獻金支拂に關して一般國民の簡便を計るため、納税者、獻金者、印紙及び娯樂税印紙の購入希望者はバーンコック及びトンブリーの諸郡に於て現金の代りに小切手を承認するとの事である。

乍然、税金及び印紙に支拂ふ小切手は佛曆二四八〇年銀行事業管理法によつて認可された銀行に限られる。認可銀行はタイ國商業銀行、タイ銀行、アジア商工銀行、タイ國々立銀行、橫濱正金銀行、印度支那銀行、廣東銀行、四海通銀行、豐利銀行、陣平銀行等で、それ等は民商法第九八八條に従はねばならぬ。小切手は大蔵省の爲替手形(裏書されてゐぬ小切手は無効)として手形振出人が發行し、豫め税金支拂日とか流通期間を表示し、支拂日の五日前當局に到達されねばならぬ。小切手はタイ國々立銀行と書いた中間に平行線を引く。

印紙又は娯樂税印紙の購入支拂の場合には上記の條件の他に小切手の表又は裏面に記入してある銀行の保證を附するか小切手を銀行で振出さねばならぬ。

單小切手は税金、獻金、印紙、娯樂税の決算に使用し、納税値段の方は前年より高いだらうとの事である。(七・二八、B・C)

## 敵國放送聽取嚴禁

敵國側のラヂオ放送の聽取は今後一切嚴重に取締られることとなつたが、樞輪國及び他の同盟國よりの放送は差支ない。(七・二九、B・C)

## 佛教弘布の聖地建設

ローマの法王廳と同じ性格を有するブツタブリーといふ佛都が、近き將來、サラブリーの佛院の近傍に設立されるであらうと、宗務局長サラヌブラバン大佐は、最近の文部省における地方教育官會議の席上において言明した。

ビロン首相はこの聖都の建設を文部大臣に一任してゐるが、この建設事業は間もなく着手され、二、三年の中には、完成する運びになつてゐる。この聖都を建設する主意は、佛教を國內各地に廣く弘布するための中心地たらしめんがため、ビロン首相が佛都建設を發案したもので、この街は將來國內各地の佛徒の中心地となるであらう。既にこの計畫の設立委員は任命され文部大臣が委員長に、宗務局長、美術局長及びロンナット・

者は郵便をもつて小切手を發送するものとする。(七・二五、B・C)

## 調髮競技會

七月二十二日の朝、厚生省では紳士、淑女の調髮業者六十名を招待した。これらの店は最近に於ける全國調髮競争に於て賞金及び祝辭を得た。この會合を司會した厚生大臣は、全出席者に對して標準料金を支持する事を要請し、賞金及び祝辭を授與した。(七・二七、B・C)

## 黃麻栽培盛況

當局の集めた最近の統計によれば、タイ國民は國策に應じて農業振興に非常な關心を拂つてゐる。その結果、黃麻栽培が急激に行はれるに至つたが、これは國民の生計を建てる一方法となるであらう。

當局は近く黃麻收穫期を控へ、賣品としての生黃麻生産者に次の如き指示を與へた。現在は高値で賣買されてゐるが競争が激しくなれば結局値段は下るだらうとの事である。

當局によれば、生黃麻は常に需要があり、賣品として提出した黃麻は數量の如何を問はず政府が引受けるといふ事、一方

プラキットコンラサン氏が委員に、これにマハポティウオンクサチャン僧正が顧問にそれぞれ就任に決定した。(七・二九、B・C)

## 十四法案、議會通過

非常の際鐵筋コンクリートの破毀除去に關する統制法案、癩病撲滅に關する法案、雇傭周施業統制法案、その他十一法案が八月廿四日の國民代表議會を通過した。

議會は同日豫定より遅れて開催され質疑應答が重ねられた後土地收用に關する法案が上程され、いづれも無事通過してそれぞれ各關係委任會に附託された。

右の中、更生大臣より今議會に提出された雇傭周施業統制法案は従來の統制法の一部を改正せんとするもので、内閣取締規則に規定されてゐる料金、以外に、諸種の手数料を雇傭人又は勞働者に負はせることを周旋人に對して禁止することにある。

更に鐵筋コンクリート統制法案は内務大臣より、文政大學令の改正法案は文部大臣代理より提出され、いづれも通過した。その外、議會に提出された主なる法案としては、チュラローンコーン大學、農業大學、醫科大學等の諸學校令の改正法案が文部大臣代理より提出されて何れも異議なく通過し、さらにランチャング、ナーン、ローイー各縣所在地の再整備に關する法

案、錫山借區税に關する法案が内務大臣及び經濟大臣より提出されいづれも通過した。

最後の法案は癩病防止法案で、更生大臣より提出されたが、いま更生省の調査した統計によれば、タイにおいては癩病患者は増加の傾向にあり、二四六〇年に七、三〇〇人が癩病に傳染したが、一八年後の二四七八年には一七、〇四二人に増加し更に増加の傾向にある。

これがため、従來の施設を改良して癩病の撲滅を計ると共に、傳染病の豫防を行ふこととなつた。

しかし、同法案を實施することはかなりの難事業でもあり、龐大なる經費を要するが、政府としては出來得るかぎり豫算を捻出し、全力を擧げて撲滅を計れば、五〇年後にはタイから完全に癩病が驅逐されることと思はれる。

かくて、この法案は萬場一致で可決された。(八・二五、B・C)

### 藝術大學特設要綱

近く新設される藝術大學の要綱が發表された。

漸次的措置として大學は適當な建物が見つかるまで藝術局裏の敷地に建てられる。學生もまた収容力に従つて制限される。然し校舎が擴張され、教授の額觸れが整へばその制限は撤廢さ

國境の交通運輸に關する協定、治安制度に關する協定及びタイ・佛印兩國政府間において最近締結されたシームリプ、サワイドンカエ、オ兩河の再整理に對する協定等の公式覺書が佛印代表とタイ國務次官との間に八月十八日午前十一時に交換され、發表された。

これによると、國境線の交通運輸に關する協定及び治安制度に關する協定は、覺書の交換後一ヶ月以内に實施され、兩河再整理に關する協定は、覺書交換後二週間に以内に發效することとなつてゐる。

右の中治安制度に關する協定は、國境附近において惹起される各種の犯罪行為を防止するため、相手の憲兵隊は互に協力し合ふこと、また、交通運輸に關する協定は、特別の許可證を所有せる者にして、入國法の改正後二ヶ年以上この地方に居住したる國境二五軒以内の住民はその適用を受けない。シームリプ、サワイドンカエ、オ兩河の再整理に關する協定には、兩國政府は、河水の水位をできるかぎり低くし、乃至は水量を増加せしめて相手側に不當の損害を加へるが如き設備を施さざること

を規定してゐる。  
但しこれは二四八四年七月一日現在既設のものには適用されない。また相手は河水を汚穢するが如き施設を行はぬよう條項によつて規定されてゐる。(八・二八、B・C)

れる。

教授科目は彫刻、美術、音樂、及び古典舞踊の四部門に分れてゐるが、新設第一年に於ては前二者のみに重點が置かれる。修業年限は六ヶ年で、前四年間は理論、後二年は實習である。(七・三、B・C)

### 藝術局の藝術講習會

近く開設される藝術大學では、卒業生に對して學士又は博士號が授與されることとなつた。

既に七〇人以上の俳優、女優、音樂家等が、五月及び七月末日迄に美術局の開催した講習會に参加したが、この講習會においては、演劇及び音樂術の原理問題について理論及實際の訓練が施された。更に文學、歴史、文化、タイ國憲法、音樂、演劇に關する法律等についても講義が行はれたが、學生達は非常に興味を持ち、熱心にこれらの講義を傾聴した。

かくて、この講習會の結果九割の學生が試験に合格し、それぞれ俳優、女優、音樂家として音樂、演劇方面に進出することとなつた。(八・二五、B・C)

### 泰・佛印新協定調印

#### 攝政府辭令

九月七日附

陸軍少將 プラチオン・マハテロク・ブルチオンパチ

ナヌク

陸軍少將 ビン・チュニヤワン

サワツ・サワツロナロン

任陸軍中將(各通)

陸軍大佐 ウドム・ヨタラッタナワチ

陸軍大佐 チョオン・プラナソククラム

陸軍大佐 プラキツ・キッタサンカ(ビブン首相の實

兄)

陸軍大佐 プボツ・プロツボラバツク・ビブンバヌワ

ツ

陸軍大佐 スツ・クリアンテヤトピチャイ、チャイ・

プラテバ(首相秘書官)

任陸軍少將(各通)

海軍大佐 デエン、ラアンクンセエン

海軍大佐 プレン、ボンシン、サミツメエク

任海軍少將(各通)

空軍大佐 スツチャイ、チユット、グツタツカアト



任空軍少將

(本協會入報)

## 陸軍人事異動

九月七日附官報に依れば攝政府は一日附左の通り發令した。

陸軍主計總監陸軍中將 チツ・マンシラパンシアート

ヨターラツ

任國防次官

國防次官陸軍少將 プラチヨン・マハテック・プラチ

ヨンパチヤスク

任陸軍參謀局指揮部附

陸軍主計副總監陸軍大佐 プラキツ・キタサンカ

任陸軍主計總監

(本協會入報)

## ピブン首相放送

ピブン首相はサマキタイのペンネームを以て論文を發表、九月十五日ラジオを通じて全國に放送したが、ピブン首相は右放送に於て、最近頗る激化する反樞軸軍の盲爆に言及し、泰國民の戰爭完遂の決意と國內戰時態勢の早急なる整備とを要望し、又特に婦女子に對しては泰國のジャンヌダルクとも稱せられるスラナリの勇武を讃へ戰時下泰國婦女子の覺悟と決意を求めた

放送要旨左の如し。

最近英軍はハンブルグ其の他の都市を盲爆し多數の市民を殺傷して居る。しかも英國の宣傳は殘忍なほくそ笑をもらして全世界にこれを宣傳して居る。反樞軸軍はこの殘忍なる盲爆を弱者力無き者の上に加へてゐる。これは米、英が兵力に於ても物資に於ても弱體化しつつある證左であると思ふ。彼等としてもこの盲爆に依つて相手國を屈服せしめ得ぬことは熟知してゐる。しかし彼等は正々堂々と武力を以て樞軸軍と立向ふ力を失つてゐるのである。敵側の斯る殘忍なる盲爆は何時泰國に向けられるか知れない。泰國民はこれを恐れてはならぬ。確固たる決意と沈着とが英の空襲に抗し、これに打ち勝つ途である。泰國民は興奮せず、沈着に政府の命令に従ふべきである。余は先日コーラートに赴きスラナリの像に參拜した。スラナリの像を仰ぐとき、余は新大なる力の湧き上るのを覺えた。スラナリは百十七年前當時泰國の封人であつたヴィカンチャン王子の叛亂からコーラートを救つた女傑である。この様に勇敢なる歴史的女傑をもつた泰國婦女子は今こそ國を救ふ爲め戦はねばならぬ。(本協會入報)

## ウ外相の滿洲國視察

先般滿洲國を視察歸國せるウイジット外相パイロート宣傳局

長一行の同國視察團は、從來比較的滿洲に關心少なきタイ國民に多大の印象を與へて居る處、九月十五日の日本の滿洲國承認記念日に際しシークルン、スワンナプリー、ニコソ、カオバブ、各タイ字紙は夫々社説を掲げ、筆を揃へて短時日に未曾有の大躍進を遂げたる滿洲國を賞讃し、又其の上工業が大東亞戰爭遂行の爲の大原動力たる役目を務めて居る事を強調し、併せて同國發展を祈つた。(本協會入報)

## 閣僚異動

泰國政府に於ては九月二十一日附左の通り發令せる旨同日ラジオ發表があつた。

文部代理大臣 ドアン、ブンナーク

任文部副大臣

空軍司令官空少將 カーフ、タツタノ

任無任所大臣

(本協會入報)

## ピブン首相の議會演説

ピブン首相は九月二十一日人民代表議會に臨み左の演説をなした。

(前略)

現下の世界情勢に鑑み今次議會は最も欣快且劃期的な會議

たりしことを記録すべきである。即ち日本政府に於てはケラントン、トレンガヌ、サイブリー、パリス及びサイエノン並モンバン州をタイ國領土に編入することを承認しタイ國領土をして擴大せしむる爲政府に於て提出せる條約文は議會で滿場一致の協賛を見たのである。又目下タイ日兩國係官は協力し是等領土の處理に當りつつあり、又緊急の必要の爲議會閉會中に數件の勅令を發布したる處、今回議會の御沙汰あるや議會は政府の措置を理解し時には憲法上當然の事たるべき討論もありたるが政府側で説明を加へて了解を求めたる後凡ては平穩に解決されたのである。又種々の勅令を審議せる外政府側より提出の法令の日を増加したるに拘らず、諸君は良く出席され、尙又議員側より家賃統制法の如く政府の方針に添ひタイ國民を救済すべき法令を提案し本期議會に間に合はすべく審議を了したのである。

以上に関する手續を進行中に付近く完成する筈なる事を喜んで御傳へするものである。

友邦國との親善關係は非常に緊密に行はれウイチット外相は青木大東亞大臣來タイの答禮の爲日本に赴き、クリヤンサツク、ピチイト中將を首班とする軍人使節團一行も日本を訪問極めて鄭重且盛大なる歓迎を受けたのである。(後略)

(本協會入報)

### ◆泰新領正式編入

帝國政府は八月廿日泰國と新領土編入に關する條約を締結し、シヤン聯藩のケントン、モンペン二州、北部マライのケラタン、トレンガヌ、ケダー、ベルリスの四州を泰國領土に加ふべきことに同意し、我軍政を條約締結の日より六十日以内に撤廢することを約したが、十月十八日右領土移譲一切の手續を終了するに至つたので、十九日午前十時現地軍と泰國側軍當局との間に、

- 一、我軍政終了
- 一、民衆の交通通信機關使用の必要なる最大限度の事項
- 一、右使用に關する補足説明

を發表、我軍政撤廢を明かにした。こゝにおいて泰國多年の宿願は帝國政府の大乗的態度により實現するに至つたが、右は帝國政府の一度公約したところは如何なる困難に遭遇するとも必ず實行することを明示するものである。(一〇・一九、日本産

業)

### ○北部マライ各州に連絡所

北部マライ四州の泰國移管に伴ひ、同地における日本軍政要員は十月十八日をもつて一切引揚げをなしたが、資源開發その他關係邦人の處理などのためなほ残された事務があるので、日泰兩國間で協議の結果各州に連絡所を設置することとなつた。右連絡所はアロルスター(ケダー州)コタル(ケラタン州)トレンガヌ(トレンガヌ州)の三ヶ所に設け、連絡官は各地ごとに委任官三名を配し、以上の事務につき泰側と密接に連絡しその圓滑なる處理を圖るものである。(一〇・一九、昭南發同盟)

### ○ビブン首相感謝表明

ビブン首相はマライ四州およびシヤン二州の泰國領土、回復を祝ふため十月十八日午後四時半から首相官邸に坪上大使、○部隊長以下日本官民樞軸外交團を招待、盛大な祝賀會を開催したが、泰國側は特にこの日を祝日として學校、官衙、銀行等

は休業し、各戸に日、泰兩國旗を掲揚して慶祝し、日本に對する感謝の意を示した。席上ビブン首相の挨拶左の如し。

特にマライ四州は日本軍が自分の血を流して英國の手から奪取したものであり、しかも日本はこれを自己のものとして却つてそれを失つたタイ國の手に返還され、またケントン、モンペン二州はタイ國軍が日本との共同作戦によつて得ることが出来たもので、けふのこの喜びをかり得たのは全く日本の好意の賜物である、私はこの席においてタイ國民を代表して日本政府日本軍および日本國民に謹んで感謝を捧げると同時に、新領土接收に當つて盡力された坪上大使、○部隊長以下現地日本軍官民各位に對し心からの謝意を表するものである。(一〇・一八、バーンコーク發朝日)

### ○泰國マライ四州司政官

タイ國最高軍司令部は九月十四日附官報で今回タイ國領土に編入されることとなつたマライ四州の司政長官、各司政官の任命を左の如く發表した。

△司政長官 カモン・サラバイスリタイカン・チョテカサ  
テイエン陸軍少將△司政顧問 モムラチャオン・チャラムラ  
プー・ターワイオン陸軍大尉△武裝警察司令官 チャマイ  
アム・リンプチャート警察大佐△ケダー州司政官 プラモ  
ト・チョン・チャローン警察少佐△ベルリス州司政官 チャ

### ○同上行政要領布告

タイ國最高軍司令部はマライ四州司政官の發表と共に行政要領につき左の如く布告した。

- 一、四州の行政はタイ國陸軍がこれを管掌す。
- 二、各州の行政は各司政官がこれを行ふ。
- 三、司政長官は各司政官を指揮監督す、司政長官は現地陸軍司令官の指揮に従ふ。
- 四、司政長官は四州の行政につき同地方の從來の行政方法とタイ國の行政とを取捨選擇し同地方の情勢並に住民に適合せりと思惟する行政方法を決定する權限を有す。
- 五、司政顧問は一般事務につき司政長官を輔佐す。
- 六、武裝警察司令官は全警察事務につき司政長官を輔佐す。

(九・一五、バーンコーク發毎日)

### ○日泰領土條約締結祝賀會

タイ國の新領土編入に關する日・タイ條約締結祝賀會が九月九日午後四時から六時まで東京目黒區駒場のタイ國大使館で開かれた。重光外相、青木大東亞相等が出席、ディレック大使以下館員一同と歡談、和やかな兩國の交驛を行つた。(九・一一、毎日)

### ○泰國軍事視察團離京

戰時下日本の現狀と無敵皇軍の威容を詳かに視察したタイ國軍事視察團一行は九月七日午前八時五十八分羽田空港發離京した。一行は名古屋の軍需工業方面視察のち大阪に出て、一班は京阪神各地を、他班は海軍兵學校を見學、十一日福岡に落合ひ、同地見學のち十二日歸國。(九・八、毎日)

### ○バドリオ降伏と泰首相放送

ビーン首相は九月十一日夜サマキタイの名をもつて論文を發表、イタリアの英米に對する無條件降伏に言及して泰國民はイタリアのごとき國內分裂が如何に恐るべき結果を招來するかに思ひを致し、最後の勝利獲得まで學國一致、獨立のため戦ふべきことを要望した。(九・一三、パインコーク發朝日)

業歸國歸郷に際して要すれば夫々當該國政府及び關係機關と密接なる連絡を圖りつゝ其就職の斡旋を爲す等、詮衡渡日より成業後に至る迄一貫的方針の下に之が處遇につき遺憾無きを期し之が爲に輔導團體の整備教育施設の改善等所要の對策を講ぜんとするものである。

以上の如き處遇並にその對策の實施に當つては、獨り政府關係各應協力これに當るのみならず、沿く國民各層の理解ある支援こそ最も望ましき事と存せられるのであつて、折角國民各位の協力を期待して已まぬ次第である。

### ○泰國副總理新任命

泰國政府は戰時下輻濺せる首相の政務職責に鑑み、今回副首相を設置し、その一部を代行せしめることになり、九月十四日附をもつて現警察總監兼内務副大臣アドン・アドラデート・チャラット警察中將を任命した。アドン中將は革命當時よりビーン首相とともに働いた同志でその後も首相の股肱としてよく國內治安確保の重責を遂行、首相の信任頗る厚く、これまでも一再ならず首相代理を務めたことがある。(九・一五、パインコーク發朝日)

### ○アドン泰副首相大將に

### ○留日學生處遇方針決定

九月十日の閣議において政府の留日各國學生の處置方針が決定し、左の如く情報局より發表された。

〔情報局發表〕(九月十日) 本日留日學生の處置に關して閣議の決定をみるに至つた。留日學生の處遇に關しては、從來共官民協力してこれに當り、輔導に、教育にその實を挙げ來つたのであるが、時局下大東亞建設の具體的進展に伴ひ、共榮圈內各國各地よりの留學希望者は増加の一途を迎るの趨勢にあり、しかも之等留日學生は將來夫々國內における指導的人材たる前途を有するものであつて、その大東亞建設に關して奮闘すべき力は又甚だ大なるものがある次第である。政府は這般の情勢に鑑みて、從來の處遇の狀況に付檢討を加へ、こゝに之に關する國內各般の機構、施設につき改善、整備を圖る事としたのである。即ち當該國政府または關係機關より有爲なる人材の推薦を求め、渡日以後に於て宿舍の斡旋をなし、先づ言語及び環境の變化に對し速に習熟適應し得る如き措置を講ずる事を始めとして、その教養に衣食住に物心の兩面に互る配慮を爲し、進學に際しては適切な指導を與へ、學校における教育に關しては我國の學術技能を十分に修得し得るの途を講ずると共に、留學期間中を通じて大東亞建設の精神及び我國の眞姿に對する理解を深からしむるに努め、成

### ○ウイチツト外相寄附

タイ國政府は九月十五日附勅令を以て九月十四日副首相に任命された内務副大臣兼警視總監アドン警察中將を警察大將に任命した旨發表、同時に司法大臣タムロン陸軍大佐兼海軍大佐は陸軍少將兼海軍少將に昇進した旨發表した。(九・一七、朝日)

### ○軍政地タイ國間兩替措置

南方軍政總監部は軍政各地域とタイ國間との圓滑なる通貨の兩替措置を講ずることとなり、差當り旅費などに要する兩替に關する暫定規則をこの程決定、九月廿日より實施する。(九・一八、毎日)

### ○タイ國閣僚異動

タイ國攝政院は九月二十一日付勅令を以てカッブ・テウィット・パンルク空軍大佐を無任所大臣に任命、同時に現文部代理大臣ドワン・ブンナク氏を文部大臣に昇進せしめる旨發

表した。(九・二二、バンコック發同盟)

### ○鳥取震災に泰から見舞品

タイ國政府は鳥取縣の震災をきいて見舞としてタイ米三千石を送ることになり、九月廿三日同國東京大使館へ手續きをとるやう訓電があつた。(九・二四、毎日)

### ○駐日タイ國大使更迭

タイ國政府は決戦下日タイ兩國が一層緊密なる提携強化をはかるため今回駐日大使の更迭を行ふことになり、特にウイチット外相を駐日大使に任命した。新駐日大使ウイチット氏は本年四十六歳、タイ國では珍らしい立志傳中の人物で、若くしてフランスに學び、その後在佛公使館附として長くパリにあつた。ついで藝術局長となり、ビヤ・パホン内閣の時無任所大臣に任命され、外務副大臣兼宣傳局長を経て昨年六月外相となり、ピブン首相を助けて日泰文化協定、國民政府承認、シヤン州マライ四州の領土編入など日泰の緊密なる協力態勢促進に貢献するところが多く、去る八月には青木大東亞相の答禮使節として日本訪問を行ひ、兩國の親善友好關係にさらに一層の力をいたした。(九・二五、バンコック發朝日)

ウイチット前外相の駐日大使任命は十月十九日攝政府の裁可を経たが、廿二日夕同氏の駐日特命全權大使を正式發令、同日

六八

午後八時十五分首相官房より泰國ラジオを以て發表した。(一〇・二二、朝日)

### ○タイ國伊國新政府承認

日本政府のイタリヤ・フアシスト新政府承認に伴ひ、タイ國政府でもこれを承認するに決定、九月二十九日ウイチット外相の名をもつてムツソリーニ伊國兼攝外相に對し電報で承認を通告した。(一〇・一、バンコック發毎日)

### ○デイレック前大使歸國

デイレック前駐日大使は十月八日午後家族同伴空路バンコックに到着、九日朝自宅において日本側記者團と會見、滞日中の印象その地につき左の如く語つた。  
余が日本に滞在中最も印象深かつたことは日本國民が自己を犠牲にして國家のために仕へる立派な態度であつた。また余の滞日中政治、經濟、文化各方面にわたり各種の交渉が行はれたが、いづれの場合においても相互の信義に基いて明朗な交渉が出来たことは余の最も欣快に堪へないところである。(一〇・八、バンコック發同盟)

### ○大東亞省・交易局編入

大東亞省は軍需省設置に伴ひ、商工省貿易局を交易局と改稱

件ふ人事異動を發表した。

駐日大使 デイレック・チャイヤナム

任外務大臣

司法大臣 タムロン・ナフソット

任外務大臣代理(デイレック外務大臣病氣靜養中)

内閣書記官長 チャイ・プラチベセン

任無任所大臣兼外務代理大臣

厚生大臣 チャウエンサック・ソングラム

任大藏大臣代理(ポリバン大藏大臣病氣靜養中)

空軍大佐 カット・ケングラドミン

命大藏副大臣

商務代理大臣 マバイサワン・ソンプテシリ

兼任商務副大臣

(一〇・二一、バンコック發同盟)

### ○日泰同盟の歌を撰定

わが泰國駐屯部隊ではさきに大東亞共榮團建設に邁進する日本の血盟を讀へる「日泰同盟の歌」を撰定、南方軍軍隊に委嘱作曲のところ、このほど完成したので、廿三日發表公開された。歌詞は六章より成つてゐるが、その第一章は左の通り。

旭日東に輝きて  
アジアの黎明告ぐるとき

六九

して編入し、五局を有することとなつた。交易局は商工省貿易局を殆んどそのまま移すこととなつたが、同局は計畫、輸出、輸入、東亞四課より成つてゐる。その結果交易警團の監督官廳は大東亞省となる。(一〇・九、朝日)

### ○タイ國西貢領事館昇格

タイ國政府はタイ、佛印關係の緊密化に鑑み、在サイゴン領事館を總領事館に昇格せしめ、現サイゴン駐在領事ウオン・プラサマイトリ氏を總領事に任命、近く發令する筈である。(一〇・一〇、讀賣)

### ○泰國フィリッピン獨立承認

タイ國政府は十月十五日フィリッピン國を承認するに決定、ウイチット外相は同日タイ國政府を代表してラウレル大統領宛獨立承認を通告した。(一〇・一五、バンコック發同盟)

### ○泰外相にデイレック氏

タイ國政府ではウイチット外相の駐日大使轉出に伴ふ外相後任にデイレック・チャイヤナム駐日大使を起用、同外相病氣靜養中はタムロン法相に兼任せしめることになつた。また病氣靜養中のポリバン藏相の代理としてチャウエンサック・ソングラム厚生相に兼任せしめることに決定、十月二十日午後八時右に



古き絆を絶ちきりて  
慨然起ちし二聯邦

(一〇・二四、バンコック發日本産業)

### ○開戦三周年と日泰文化會館

日泰文化會館では十二月八日の大東亞戰勃發三周年記念日を期して種々の催しを企てゝあるが、音楽使節として歌手藤原義江、木琴家平岡養一等をバンコックに派遣し、日泰を音楽で結ぶのをはじめ、現在バンコックに二ヶ所ある日語學校を數ヶ所泰國内に増設すること等が日泰文化會館の建設計畫と並行して着々と進められてゐる。(一〇・二六、讀賣)

### ○文化協定一周年記念放送

十月二十八日は日泰文化協定が東京に於いて調印されて滿一周年になるので、午後七時半からその記念交響放送が行はれた。日本からは曾つて公使として泰國に在勤したことのある前駐伯大使石井猪太郎氏、泰國からは外相代理タムロン氏がそれぞれ放送した。(一〇・二九、讀賣)

### ○泰國新首都變更

泰國政府は曩に首都のサラブリー移轉を決定、十五ヶ年計畫を

もつて首都建設準備を進めてゐたが、今回その後の情勢に鑑みサラブリー遷都を中止し、新にベチャブンを新首都候補地に決定し、十月三十一日夜ラジオをもつて公表した。ベチャブンはバンコック北方三百キロ、メナム河支流パサリ河溪谷に臨む山都で、東西を山に圍まれて、風光明媚の天然の要害である。北泰縦貫鐵道ビサマロークから自動車で約半日行程であるが、政府では北方ランパン南方バンコック、東方ウボンの各都市に通ずる道路の擴張修築工事中で、來年六月頃までには交通網を完成し、政府機關を同地に移す豫定である。(一一・二六、バンコック發讀賣)

### ○泰國專任國防相任命

泰國ではビアン首相の兼任であつた國防大臣に現國防軍副最高指揮官ピット・クリアンサク中將を起用することとなり十一月十五日發令した。

ピット中將は本年四十五歳、泰國陸軍士官學校砲兵科卒業昨年國防副大臣に任ぜられ、今年七月中将に昇進、泰國軍副司令官兼任となつた。(一一・一六、バンコック發同盟)

## 協會記事

### ○理事長常務理事互選

今般理事互選の結果左の通り決定した。

理事長 矢田部保吉殿  
常務理事 村井 倉松殿  
常務理事 子爵 三島 通陽殿

### ○理事會開催

九月二十五日正午より華族會館において本協會理事會開催、會務につき協議した。

### ○川村常務理事轉出

本協會常務理事川村博氏は今回在バンコック日泰文化會館事務所に長に轉任せられ、十一月三十日東京發、十二月二日福岡發赴任の途に就かれた。

### ○デイレッツク前大使送別會

七〇

デイレッツク前駐日泰國大使本國政府の命により歸國せられるに付、九月二十四日正午大東亞會館において本協會役員送別午餐會開催、出席者主客併せて計三十名、和やかなる會合であつた。

### ○デ前大使に記念品贈呈

今回歸國せらるゝ前駐日泰國大使・デイレッツク・チャイヤナム閣下に對し、本協會にては記念寫眞數十枚を箱入として贈呈した。

### ○名譽會員推舉

今回左記三氏を本協會名譽會員に推舉した。

ポット・パホンヨーティン閣下 前泰國國務院總理陸軍大將

デイレッツク・チャイヤナム閣下 前駐日泰國大使

ウイット・ウイットワタカーン閣下 駐日泰國大使

### ○役員の異動

今般理事(十九名) 監事(二名) 任期満了のところ、左記の通り異動し、評議員一名増員となった。

#### 一、理事(二名)

伊東理事、堀理事、大倉理事、岡田理事、川村理事、鶴見理事、常岡理事、向井理事、柳澤理事、矢田部理事、二荒理事、古田理事、船田理事、淺野理事、酒井理事、北島理事、水野理事、三島理事(以上十八氏重任)

石井理事、齋藤理事(以上二氏退任)

#### 二、監事(二名)

門野監事、藤山監事(重任)

#### 三、評議員

石井康殿(新任)

### ○會員の異動

左記一名新に入會せらる。

通常會員 村井倉松殿(續演) 元駐泰特命全權公使

### ○會員の消息

國大使館附財務官兼商務官モムチャオ・ブラツツブスック、スツクサワート殿下歓迎午餐談話會を開催した。

### ○展覽會共催

八月三十一日より九月五日迄六日間大阪心齋橋大丸に於て日本タイ協會並に大阪日泰協會の共同主催を以て「泰國の新生活運動とラタニヨム展覽會」を開催したが、連日參觀者多數に上り、頗る盛況裡に終始した。

### ○日泰民間航空郵便取扱陳情

日泰兩國間經濟關係は急激なる促進を遂げつゝあるが、經濟提携の上に最も緊要且つ迅速を要する民間郵便物にして航空便を利用し得るの途を速に講ぜられたく、九月十五日付を以て陸海軍、商工、逓信、大東亞各大臣、企畫院總裁宛に陳情書を提出すると共に、駐泰國坪上大使、駐日泰國商務官、大阪逓信局長並日本貿易振興協會長宛に同寫を送附し、右實現に關し協力を懇談した。

### ○常任理事會開催

九月十八日常任理事會を開催し會務につき協議した。

### ○新田義實氏講演會開催

△藤山愛一郎氏(監事) 十月十一日の全國商工經濟會協議會創立總會に於て同協議會會長に選任された。

△石井康氏(評議員) 大使館參事官たる同氏は十月七日フイリッピン派遣特命全權大使隨員仰付けられた。

△有田八郎氏(名譽會員)夫人 ヤス子さんは腦溢血のため十月十日午前淀橋區下落合一ノ四二六の自邸で逝去された。享年五十八、告別式は十二日午前十一時から正午まで青山齋場で佛式により執行された。

### ◆大阪日泰協會記事

#### ○定時總會開催

八月二十一日午前十一時半より新大阪ホテル會館に於て定時總會開催、山本理事長より昭和十七年度事業並會計報告及昭和十八年度豫算案其他につき夫々報告若くは説明あり、滿場異議なく原案通り可決、尙ほ本總會席上同會副會長安住伊三郎氏の喜壽に對し山本理事長より祝辭を述べ、祝品贈呈の件を可決し、安住氏の謝辭があつた。

#### ○駐日泰國商務官懇談會

前項定時總會終了後、引續き同會館に於て最近着任の駐日泰

九月十八日午後一時より大阪商工會議所に於て、協會主催にて、最近泰國より歸朝の前總谷泰日本商工會議所會頭、三菱商事株式會社業務部長新田義實氏を招じ、同氏より「最近の泰國事情」につき講演を聴取した。

#### ○テ前大使に記念品贈呈

大阪日泰協會名譽會長ディレック前駐日泰國大使歸國に際し徳力富吉郎氏作版畫徳富德富先生題詩「富士三十六景」額縁附の記念として十月一日贈呈した。

### ○財團法人日本タイ協會

#### 總裁及役員並職員

總裁	秩父宮雅仁親王殿下
名譽總裁	アーテイト・タイプ・アーバー殿下
會長	公爵近衛文麿
名譽會長	ディレック・チャイヤナム
同	駐タイ國日本大使坪上貞二
副會長	侯爵徳川頼貞
理事長	矢田部保吉
常務理事	村井倉松
同	子爵三島通陽

同同同評同監同同同同同同同同同同同同同同同同同  
議員事

子爵	醫學博士	伯爵	伯爵	男爵	子爵
大石丸	伊井藤	井上藤	門野野	北野島	酒野井
丸	二	郎	一	郎	郎
三	康	丸	郎	郎	郎

同同同同同同同同同同同同同同同同同

子爵 醫學博士 三北島通陽

櫻井兵衛

佐藤市郎

安住伊三郎

出淵勝次郎

櫻井充造

江口定條

二荒芳德

矢田保吉

倉田猛郎

黑田長清

南條金雄

鶴見左吉

高楠順次郎

加藤泰通

河井彌太郎

川村八博

德川因博

細川立

公爵 侯爵

七四

同同同同同同同同同同同同同  
調查部職員  
主事  
同

(應召中)

西村勝比古	山口勝比古	岡本嘉子	渡邊嘉子	小池康子	江尻英太郎	今井英太郎	星井英太郎	高田久正	田中久正	遠山貞三郎	關屋貞三郎
-------	-------	------	------	------	-------	-------	-------	------	------	-------	-------





